事業番号   00265
--------------

事務事業名	児童扶養手当給付事業						
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美		

	于初于木V/W	14															
(1)		平成14年度			改正	児童	重扶養手当と	:公的年金	金給付	等との併給制	川限の見直し						
(2)	直近の改正	平成26年度	,		内容												
(3)	根拠法令等	児童扶養手	当法 ————														
		口 全部 口 一部(上						乗せ、横出し等あり) 図 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合はそ	その説明	明											
(5)	総合計画の体系	章 0	)3 健原	東で安心	ルして暮	らせ	けるまちづくり	J		節	(	)1		細節	33	3	
		<u>.</u>	L		区	分	□ 内部管	<b>管理</b>		建設事業	☑ その他						
>		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	等している。おいては、おいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ										
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	)か)	児童	童扶養手当を支給することにより、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与する。											
		結果 (どのような効!	果が得ら∤	<b>こるのか</b> )	ひとり	り親	家庭等の生	活の安定	と自3	立の促進、児	童の福祉の増	進					
(7)	事業概要	者に手当をす	支給する。 .目42, 3 所得に応	。 330円(i にて減額	所得に 頁)に変	応じ 更。	て減額)、2	人目5, (	000円	、3人目以降	佘で定める程) :3,000円。8						
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	3	項	02	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01	
	3 31 1		· 項	目	<u> </u>		:		7年度 年度)	i		平成2 (2016	8年度 年度)		平成29 (2017 <i>2</i>		
							予算(刊	千円)	決	:算(千円)	予算(千	円)	決算見込	決算見込(千円)		千円)	
		事業費(		(A)			1,202,232			1,183,34	3 1,	226,115		1,191,109	-	1,287,477	
		人件費	 	員数			1.50				0	2.00		2.00		2.00	
			総額(B)			円	12,528			12,05	·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u> </u>		
	古光串上		事業費				1,214,760			1,195,40	·						
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源					400,743		393,000	·		·		·		
		<u> </u>		国 ——— 府				400,743	393,000		) )	408,704		396,552		429,158 0	
		訳 <u></u>		<u>///</u> の他				0			0	0		0		0	
			市負担					814,017		802,40	2	833,751		810,357		874,423	
		$\widehat{}$	地	方債				0		(	ס	0		0		0	
		内 訳	そ	の他				0			0	0		0		0	
		$\smile$	一般 財源計( <b>(</b>	<b>设財源</b>				814,017		802,40	2	833,751		810,357		874,423	
				1	,214,760		1,195,40	2 1,	242,455		1,206,909	-	1,303,581				
		□ ☑ 直接	接実施					1									
							委託先	2									
		□ 委託	モ又は一	部委託			<b>У</b> 1070	3									
( ( 0 )	実施方法					È	こな委託内容										
(10)	(該ヨ9るもの							1									
	は全部チェック)	□ 補助	力金•負担	旦金			交付先	2									
								3									
		□ その他					内容										

2 評		指標等	· 指標項目	<b>1</b>		項目		27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
			支給件数(延べ件	-数)	目標値	(単位:件)		31,641.00	31,282.00	31,278.00	
		指標 内容			実績値	(単位:件)		31,118.00	30,557.00		
	1					達成度(%)		98.3	97.7		
		目標値		づく	単位当た	総事業費(単位:千円)	)	38.42	39.51		
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	)	25.79	26.54		
活動指標			支給金額		目標値	(単位:千円)	1,2	202,232.00	1,226,115.00	1,287,477.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:千円)	1,1	83,342.00	1,191,109.00		
	2					達成度(%)		98.4	97.1		
		目標値		づく	単位当た	総事業費(単位:千円)	)	1.01	1.01		
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	)	0.68	0.68		
					目標値	(単位∶)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位∶)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	)	0.00	0.00		
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	)	0.00	0.00		
成 果 指 標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	)	0.00	0.00		
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	)	0.00	0.00		
の の が	1	活動 内容					目標				
困難な場合	2	成果 内容				J親家庭(父又は母が政 は養育者に手当を支給	達成状況	ひとり親家庭等の生活の安定と児童の福達 進を図ることができた。			
	I		上 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		<b>小</b>		<b>秦止</b> □	終期の設定	
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	ひとり親家庭の生活	<u> </u> 活の安定のた。	めに、法定受託事務の	として児童	扶養手当	を支給する。		

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00265	事業名	児童扶養手当給付事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> 5の想点		※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※冬設門5点選点		
言 <b>平</b> 1位	の視点	評価点			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)	妥当性 (20点)		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(20無)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。 		
(2)	有効性	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
	(20点)		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(0)	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	16	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
<b>(</b> E)	持続可	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	·点合計	92	← ※自動計算します。		
(100	点満点)	JZ	(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00265	
2 各視点	。 はからの評価の点数では表れ	いない事項(必要に	応じて記載)	

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題  しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性       10       5       0       公平性       効率性	
(3)現状分析	目的としており、配慮を必要とする家 また、遡って資格を喪失するケースか る。遡っての喪失とならないように、現	ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、児庭への支援に結びついている。 「あるが、過誤払金が大変大きな金額になる別では 「別届提出時に丁寧な聞き取りを行い、会 には早急に返還していただけるように、納付	なり、返金不可能な場合があ F金受給や住民票の変更を確

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成28年8月分から第2子加算5000→10000円、第3子加算3000→6000円へ増額。

事務事業名	児童手当給付事業							
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美			

	<b>争切争未</b> 07%	ル <del>文</del>															
(1)	事業開始年度	昭和46年度					=エッナの ぱ	אר חל <del></del>									
(2)	直近の改正	度     四     日       日     日     日     日       日     日     日     日       日     日     日     日       日     日     日     日       日     日     日     日     日       日     日     日     日     日     日       日     日     日     日     日     日       日     日     日     日     日     日       日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日     日<			改正 内容	<b>児里</b>	重手当法の一部	孙以正									
(3)	根拠法令等	児童手当法		•	_												
		□ 全部		一部(	上乗せ	、横	出し等あり)		V	なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	(J)	
(4)	事業開始の改         自       市場         会       市場         会       事業の         会       中域         会       事業の         会       中域         会       中域		ックした	場合は	その説明	明											
(5)	総合計画の体系	章 0	3 健	康で安心	いして暮	らせ	るまちづくり				節	01		細節		23	
		:			区	分	□ 内部管理	□ 内部管理 □ 建設事業 □ その他							<u>:</u>		
					範囲	事	中学校修了前児童										
(6)	目 的		こしたいの														
			果が得られ	れるのか)	児童	福祉	上の増進										
(7)	直近の改正   平成24年度   日		頁15, 00 ī(第1· <i>2</i> ī(第3子 )特例給	DO円 !子) : 月 以降) : ;付 : 月額	額1 月額 額:5	(15,000円)	合、所得	<b>异</b> 736	6万円	<b>円未満</b>							
(8)		会計	01	款	0;	3	項	02	E		02	大事業	02	中事業	01	小事業	01
		•	項		·	平成2 (2015			:	:	平成2 (2016	8年度 年度)					
				•	予算(千F	円)	ž	夬算	(千円)	予算(-	千円)	決算見込	(千円)	予算(=	<b>戶円</b> )		
			事業費	₹(A)			6,364,725				6,302,285	(	6,357,860	6	,345,891	6	,475,360
		人件費 総額 (E		員数	<u> </u>		2.00				2.00	2.50		2.50			
				額(B)	千	円	16,704			16,078		20,425		19,750		20,130	
						6,381,429			6,318,363				6,365,641		6,495,490		
(9)		<u>'</u>	特定財				5,410,349			5,358,283				1		+	
	743 W34 G 2 1 3 Li 4	<b> </b>					4,455,973			4,414,116							
				府			9.	54,376			944,167		951,632		947,519		965,483
				の他 R(D)			0.	71 000		0				4	0E0 071		005.615
				· ·方債			<del>ູ</del>	71,080			960,080		972,058		,052,371		
		内		の他				0			0		0		0		_
				<u></u>			0	71,080			960,080		972,058		,052,371		
								81,429			6,318,363		5,378,285		,365,641		
				0107			0,0	01,120			0,010,000		3,070,200		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,400,400
					I			1									
		□ 承封	F∇/+-				委託先	2									
	実施方法			H > H C				3									
(10)						主	な委託内容										
	(該ヨ9句もの		A =-					1									
		┃  □ 補助 ┃	団金・負担	<b>过金</b>			交付先	2									
								3									
		□ その	他				内容										

			指標項目			項目		27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
			支給件数(年間延べ件	-数)	目標値	(単位:件)	(	607,000.00	609,062.00	621,679.00	
		指標 内容			実績値	(単位:件)	(	608,888.00	617,827.00		
	1					達成度(%)		100.3	101.4		
		目標値	過去の実績に基づく		単位当た	総事業費(単位:千円	3)	10.38	10.30		
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円	3)	1.58	1.70		
活動指標			支給金額		目標値	(単位:千円)	6,3	364,725.00	6,357,860.00	6,475,360.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:千円)	6,3	302,285.00	6,345,891.00		
	②					達成度(%)		99.0	99.8		
						総事業費(単位:千円	1)	1.00	1.00		
		方法				一般財源(単位:千円	3)	0.15	0.17		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円	3)	0.00	0.00		
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円	1)	0.00	0.00		
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円	1)	0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円	1)	0.00		)	
の3 がシ 困指	1	活動 内容					目標				
開業な場合	2	成果 内容	国制度に基づき中学校を支給する。	<b>交修了前の児童のい</b>	<b>\</b> る家庭から <i>0</i>	)申請により、児童手当	達成状況				
	•	-	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続		小		<b>堯止</b> □	終期の設定	
(4)総	(4)総合評価		法定	□ 三受託事務であり 事務改善を行って		人 付、入力等、大量事	務を臨時雇	L 開員で行	い、事務処理の交	南率化を図るな	

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00266	事業名	児童手当給付事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш та 	107]兀灬	四丁  四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / □ 到 11 付票 * 行 刈 11 付票 で 1 じ で 1 じ こ 足 重 的 な 11 行票 改 足 で 1 〕	Q	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	F	<u></u>
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は先生に一致している。(3点)   ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	点
	<b>\</b> = - <b>\\\\\\</b>				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	_	<b>-</b>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************		<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点 
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 !	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	: :	
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	: :	
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
/	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	:	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u>:</u>	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00266		
2 各視点	なからの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事務引	事業の現状分析				
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題 しての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 10 5 0 効率性	
(3)現状分	↑析	家庭等における生活の安定 として、児童手当法に基づき	に寄与するとともに 実施。	、次代の社会を担う児童の健	やかな成長に資することを目的
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特証	<b>己事項</b> )		

事業番号 00267
------------

事務事業名			母子福祉センター事業		
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美

(1)	事業開始年度	昭和62年度	Ę		改正												
(2)	直近の改正	なし			内容												
(3)	根拠法令等	母子及び父	子並び	に寡婦さ	<u></u> 畐祉法												
		□ 全部		一部	(上乗せ	大横出	出し等あり	)	<b>V</b>	なし(	(国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務す	5Y)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	:ックした	<u>-</u> 場合は		:明											
(5)	総合計画の体系	章 (	03 健	康で安	心して暮	事らせん	るまちづく	IJ		1	節		01		細節	33	
					区	分	□ 内部旬	管理		建設事	業	☑ そのf	也	I	!		
		対象 (誰を、何を)	ı		範囲	囲等 日	母子家庭及	及び寡婦									
(6)	目的	目標(どういう状態	にしたい	のか)	母子	子家庭	及び寡婦	の相談窓	日を	開設す	るととも	に、自立に	役立つ技	能の習得の	の機会を記	设ける。	
		結果 (どのような効	果が得ら	れるのカ	、) 母子	子家庭	及び寡婦	の自立と	生活:	の安定	. 0						
(7)		母子家庭及 る。	び寡婦の	の生活 <sup>。</sup>	や子どŧ	もにつし	いての相詞	炎事業と	自立に	こ役立つ	つ技能習	得講座を開	見催する 乳	<b>事業を吹田</b>	市母子寡	婦福祉会に	委託す
		1															
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	0	03	項	02	E	<b>I</b>	04	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(8)		会計	01		0	)3	項	平成2		隻	04	大事業	01 平成2 (2016	8年度	01	小事業 平成29 (2017年	年度
(8)		会計	!		C	03	項 予算(=	平成2 (2015	27年度 5年度	隻		大事業 予算(=	平成2 (2016	8年度		平成29	年度 F度)
(8)		숲計	項事業費	目 費(A)				平成2 (2015 千円) 2,583	27年度	隻	千円) 2,570		平成2 (2016 千円) 2,583	8年度 年度)	丛(千円) 2,583	平成29 (2017年	年度 F度) F円) 2,778
(8)		会計	事業費	目 費(A) 裁員数		\		平成2 (2015 千円) 2,583 0.20	27年度	隻	F円) 2,570 0.50		平成2 (2016 千円) 2,583 0.20	8年度 年度)	入(千円) 2,583 0.20	平成29 (2017年	年度 F度) F円) 2,778 0.20
(8)		人件費	事業費	目 費(A) 裁員数 額(B)	- - - - - -			平成2 (2015 千円) 2,583 0.20 1,671	27年度5年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020		平成2 (2016 千円) 2,583 0.20 1,634	8年度 年度)	之(千円) 2,583 0.20 1,580	平成29 (2017年	年度 F度) F円) 2,778 0.20 1,611
	予算コード	人件費	事業費	目 費(A) 裁員数 額(B)	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0.20 1,671 4,254	27年度5年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020 6,590		平成2 (2016 千円) 2,583 0.20 1,634 4,217	8年度 年度)	入(千円) 2,583 0.20 1,580 4,163	平成29 (2017年	年度 F度) F円) 2,778 0.20 1,611 4,389
(8)		人件費	事業費	目 費(A) 裁員数 額(B) 資(A+B)	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0.20 1,671 4,254	27年度5年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020 6,590 529		平成2 (2016 F円) 2,583 0.20 1,634 4,217	8年度 年度)	人(千円) 2,583 0.20 1,580 4,163 529	平成29 (2017年	年度 F度) 6円) 2,778 0.20 1,611 4,389 530
	予算コード	人件費	事業費	目 費(A) 裁員数 額(B)	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0.20 1,671 4,254	27年度5年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020 6,590	予算(=	平成2 (2016 千円) 2,583 0.20 1,634 4,217	8年度 年度)	入(千円) 2,583 0.20 1,580 4,163	平成29 (2017年	年度 F度) F円) 2,778 0.20 1,611 4,389
	予算コード	人件費	事業費 総事業財	世(A) 戦員数 額(B) は(A+B 流(C)	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530	27年度5年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020 6,590 529 529	予算(=	平成2 (2016 千円) 2,583 0.20 1,634 4,217 530	8年度 年度)	2,583 0.20 1,580 4,163 529 529	平成29 (2017年	年度 F度) 2,778 0.20 1,611 4,389 530
	予算コード	人件費	事業費 総事業財	間 関 関 製 製 額 (B) で (A+B 源(C) 国 府	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0.20 1,671 4,254 530 530	27年度5年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020 6,590 529 529 0	予算(=	平成2 (2016 F円) 2,583 0.20 1,634 4,217 530 530	8年度 年度)	人(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0	平成29 (2017年	年度 F度) 2,778 0,20 1,611 4,389 530 530
	予算コード	人件費紙(内訳)	   事業 第 総 書 第 特 定 財 市 負 担	間 関 関 製 製 額 (B) で (A+B 源(C) 国 府	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0.20 1,671 4,254 530 0	27年度5年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020 6,590 529 529 0	予算(-	平成2 (2016 千円) 2,583 0.20 1,634 4,217 530 530 0	8年度 年度)	A(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0	平成29 (2017年	年度 F(P) 2,778 0.20 1,611 4,389 530 530 0
	予算コード	人件費	事業 事業 第 総費 計 を す	世(A) 戦員数額(B) ((A+B) (原国 府 たの他 担(D) 地方債	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724	27年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020 6,590 529 0 0 6,061 0	予算(-	平成2 (2016 千円) 2,583 0,20 1,634 4,217 530 530 0 0 3,687 0	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0	平成29 (2017年	年度 F(E) F(H) 2,778 0,20 1,611 4,389 530 0 0 0 3,859 0
	予算コード	人件費料	事業 第 総費財 そ 計 世 そ 一	世代 (A) は	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724 0	27年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020 6,590 529 0 0 6,061 0	予算(-	平成2 (2016 千円) 2,583 0,20 1,634 4,217 530 530 0 0 3,687 0	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0 3,634	平成29 (2017年	年度 F(E) F(H) 2,778 0,20 1,611 4,389 530 0 0 0 3,859
	予算コード	人件費  (内訳)  (内訳)	事業 事業 第 総 書業 特 定 財 本 市 負 ! ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	世代 (A) は	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724	27年度	隻	F円) 2,570 0.50 4,020 6,590 529 0 0 6,061 0	予算(-	平成2 (2016 千円) 2,583 0,20 1,634 4,217 530 530 0 0 3,687 0	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0	平成29 (2017年	年度 F(E) F(H) 2,778 0,20 1,611 4,389 530 0 0 0 3,859 0
	予算コード	人件費料	事業 事業 第 総 書業 特 定 財 本 市 負 ! ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・	世代 (A) は	- - - - - -	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724 0,20 0 0 3,724 4,254	27年度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F円) 2,570 0,50 4,020 6,590 529 0 0 6,061 0 6,061 6,590	予算(-	平成2 (2016 作円) 2.583 0.20 1.634 4.217 530 0 0 3.687 0 0 3.687 4.217	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0 3,634	平成29 (2017年	年度 F(F) 2,778 0.20 1,611 4,389 530 0 0 3,859 0
	予算コード	人件費	事業 第 総 費 財 を き を を を を を を を を を を を を を を を を を	間 大 大 大 大 大 大 大 の 他 し 大 の 他 し 大 の 他 し 大 の 他 し 大 の 他 し た の の し の た の の の し の の の し の の し の し の の し の の し の の し の の し の し の し の の し の の し の の し の の の し の の の の の の の の の の の の の	)   T	\		平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724 0,254 1,254	27年度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F円) 2,570 0,50 4,020 6,590 529 0 0 6,061 0 6,061 6,590	予算(-	平成2 (2016 作円) 2.583 0.20 1.634 4.217 530 0 0 3.687 0 0 3.687 4.217	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0 3,634	平成29 (2017年	年度 F(F) 2,778 0.20 1,611 4,389 530 0 0 3,859 0
	予算コード 事業費と 財源の内訳	人件費	事業 第 総 費 財 を き を を を を を を を を を を を を を を を を を	世代 (A) は	)   T	\	予算(-	平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724 0,20 0 0 3,724 4,254	27年度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F円) 2,570 0,50 4,020 6,590 529 0 0 6,061 0 6,061 6,590	予算(-	平成2 (2016 作円) 2.583 0.20 1.634 4.217 530 0 0 3.687 0 0 3.687 4.217	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0 3,634	平成29 (2017年	年度 F(E) F(H) 2,778 0,20 1,611 4,389 530 0 0 0 3,859
(9)	予算コード	人件費	事業 第 総 費 財 を き を を を を を を を を を を を を を を を を を	間 大 大 大 大 大 大 大 の 他 し 大 の 他 し 大 の 他 し 大 の 他 し 大 の 他 し た の の し の た の の の し の の の し の の し の し の の し の の し の の し の の し の し の し の の し の の し の の し の の の し の の の の の の の の の の の の の	)   T	人 · P	予算(-	平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724 0,254 1 1 2 3	27年度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F円) 2.570 0.50 4,020 6,590 529 0 6,061 0 6,061 6,590  去人吹田	予算(-	平成2 (2016 F円) 2,583 0,20 1,634 4,217 530 0 0 3,687 0 0 3,687 4,217	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0 3,634	平成29 (2017年	年度 F(E) F(H) 2,778 0,20 1,611 4,389 530 0 0 0 3,859
	予算コード 事業費の内部 実施 たっち ままの するもの	人件費	事業 第 総 費 財 を き を を を を を を を を を を を を を を を を を	間 大 大 大 大 大 大 大 の 他 し 大 の 他 し 大 の 他 し 大 の 他 し 大 の 他 し た の の し の た の の の し の の の し の の し の し の の し の の し の の し の の し の し の し の の し の の し の の し の の の し の の の の の の の の の の の の の	)   T	人 · P	予算 (- 季託先	平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724 0,254 1 1 2 3	27年度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F円) 2.570 0.50 4,020 6,590 529 0 6,061 0 6,061 6,590  去人吹田	予算(-	平成2 (2016 F円) 2,583 0,20 1,634 4,217 530 0 0 3,687 0 0 3,687 4,217	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0 3,634	平成29 (2017年	年度 F(F) 2,778 0.20 1,611 4,389 530 0 0 3,859 0
(9)	予算コード 事業費と 財源の内訳 実施方法	人件費 総 (内訳) (内訳) □ □	事業 第 総 費 財 を き を を を を を を を を を を を を を を を を を	目 農人 養人 養人 養人 食人 食人 大子 の他 自力 を一の他 自力 を一の他 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 。 。 のした。 。 。 。 。 のした。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	)   T	人 · P	予算 (- 季託先	平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724 0 0 3,724 4,254 (1) (2) (2)	27年度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F円) 2.570 0.50 4,020 6,590 529 0 6,061 0 6,061 6,590  去人吹田	予算(-	平成2 (2016 F円) 2,583 0,20 1,634 4,217 530 0 0 3,687 0 0 3,687 4,217	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0 3,634	平成29 (2017年	年度 F(E) F(H) 2,778 0,20 1,611 4,389 530 0 0 0 3,859
(9)	予算コード 事業費の内部 実施 たっち ままの するもの	人件費 総 (内訳) (内訳) □ □	事業 第 総 費財 そ	目 農人 養人 養人 養人 食人 食人 大子 の他 自力 を一の他 自力 を一の他 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 のした。 。 。 。 のした。 。 。 。 。 のした。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	)   T	人 · P	予算(=	平成2 (2015 千円) 2,583 0,20 1,671 4,254 530 0 0 3,724 0 0 3,724 4,254	27年度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F円) 2.570 0.50 4,020 6,590 529 0 6,061 0 6,061 6,590  去人吹田	予算(-	平成2 (2016 F円) 2,583 0,20 1,634 4,217 530 0 0 3,687 0 0 3,687 4,217	8年度 年度)	L(千円) 2,583 0,20 1,580 4,163 529 529 0 0 3,634 0 3,634	平成29 (2017年	年度 F(E) F(H) 2,778 0,20 1,611 4,389 530 0 0 0 3,859

		が目標を	指標項目			項目			7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			講座参加者数(3	正べ)	目標値	(単	位:人)		609.00	492.0	0 380.00
		指標 内容			実績値	(単	位:人)	410.00		357.0	0
	1					達成度(%)			67.3	72.	6
<u> </u>		目標値	参加定員数		単位当 <i>t-</i>	総事業費(単位:千円)		16.07		11.6	6
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		14.78	10.1	8
活動指			相談受付件数		目標値	(単	位:人)		50.00	50.0	0 50.00
標		指標 内容			実績値	(単	位:人)		20.00	34.0	0
	2					達成度(	%)		40.0	68.	0
		目標値 の積算	開催数		単位当た	総事業費	(単位:千円)		329.50	124.0	3
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		303.05	108.4	7
			講座参加者数		目標値	(単	位:人)		70.00	44.0	0 32.00
		指標 内容			実績値	(単	位:人)		61.00	39.0	<u> </u>
	1					達成度(	%)		87.1	88.	6
2		目標値 の積算	講座参加者数		単位当た	総事業費	(単位:千円)		108.03	106.7	4
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		99.36	93.1	8
果指					目標値	(1)	単位:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値	(1)	単位:)		0.00	0.0	
	2					達成度(	%)		0.0	0.	0 /
		目標値 の積算			単位当たりコスト	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.0	0 /
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.0	0
( の 3 が ) 困指	1	活動内容						目標			
難な場合	2	成果 内容						達成 状況			
		4	今後の方向性 (実施計画)	□拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	`	_ J	<b>廃止</b> □	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	技能習得講座の票 生活の自立促進を 初任者研修を実施 の自立を促進する	E図っている。 <sup>:</sup> Eする予定。今	平成26年 後も事業	度から医療 内容等を見	事務講座	を実施し	ており、平成29	

 所属名
 子育で給付課

 事務事業番号
 00267
 事業名
 母子福祉センター事業
 事業区分
 その他

	見点からの		※内部管理事務は「公平性」の評価不要		
評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)	妥当性	18	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	10	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(0)	有効性	40	b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
>	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			L		
	持続可		a.享業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
	(20 Mg/		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
=== l==	上人二				AIN.
	i点合計 点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

也
↑担をしてい 催している。 必要があ
<del>5.</del>

事業番号	00268

Ī	事務事業名			助産施設事業		
	担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美

(1)	事業開始年度	昭和50年度	Ę		改正	\\$ [ 宀	<b>三海弗</b> 肋 (	<b>+</b> -1-=⊞:	114 HT 1	<b>サ</b> の 白 =	7 4 40 4	2日本1					
(2)	直近の改正	平成24年度	ŧ		内容	进汽	医療費助成	火、非床	が止っ	帝の日に	二貝担ュ	記見 <u>し</u>					
(3)	根拠法令等	児童福祉法	、吹田	市児童福	祉法に	.基づく	く費用徴収	規則、吃	市田才	<b>市助産の</b>	実施お	よび母子保	護の実施	に関する対			
		□ 全部	[	□ 一部	上乗せ	大横出	出し等あり)	)	V	なし(	国•府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	よる義務を	5Y)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックし	た場合は	その説	.明			l								
(5)	総合計画の体系	章 (	03 修	建康で安	心して暮	事らせ	るまちづくり	Ŋ		節		01		細節		23	
		•			区	分	□ 内部管	9理		建設事	業	☑ その他	<u>t</u>	<del>-</del>			
(0)		対象 (誰を、何を)	)		範囲		保健上必要 (非課税世					斉的理由に	より、入防	計産を受り	けることが	「できない好	産婦。
(6)	目的	目標(どういう状態	にしたい	へのか)	出產	<b>E費用</b>	を助成する	<b>5</b> .									
		結果 (どのような効	果が得	られるのか	() 母子	⁴の福	証心の増進を	を図る。									
(7)		保健上必要 する。 (本市では、											<b>壬産婦</b> に	対して、入院	完出産にな	かかる費用	を助成
		L															
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	0	)3	項	02	E	目	04	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(8)		会計	<u> </u>	款目	0	13	項	02 平成2 (2015	27年度	变	04	大事業	02 平成2 (2016	8年度	01	小事業 平成29 (2017年	年度
(8)		会計	<u>.</u> 項	l 目	О	03	項 予算(千	平成2 (2015 千円)	27年度 5年度	变	円)	大事業	平成2 (2016 F円)	8年度	公千円)	平成29	年度 F度) F円)
(8)		会計	事業	目 費(A)			1	平成2 (2015 千円) 9,400	27年度	<b>隻</b> (5)	一円)	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000	8年度 年度)	L(千円) 7,285	平成29 (2017年	年度 <b>手</b> 度) <b>千円</b> ) 9,000
(8)		会計	事業	目 費(A) 職員数		\ \	1	平成2 (2015 千円) 9,400 0.30	27年度5年度	<b>隻</b> (5)	-円) 7,423 0.50	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30	8年度 年度)	人(千円) 7,285 0.30	平成29 (2017年	年度 手度) F円) 9,000 0.30
(8)		人件費	事業	貫 費(A) 職員数 総額(B)	- - - - - -		1	平成2 (2015 千円) 9,400 0.30 2,506	27年度5年度	<b>隻</b> (5)	7,423 0.50 4,020	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451	8年度 年度)	上(千円) 7,285 0.30 2,370	平成29 (2017年	年度 手度) 千円) 9,000 0.30 2,416
	予算コード	人件費	事業	費(A) 職員数 総額(B) 費(A+B	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 千円) 9,400 0.30 2,506 11,906	27年度5年度	<b>隻</b> (5)	7,423 0.50 4,020 11,443	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451 11,451	8年度 年度)	人(千円) 7,285 0.30 2,370 9,655	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416
(8)		人件費	事業	貫 費(A) 職員数 総額(B)	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 千円) 9,400 0.30 2,506	27年度5年度	<b>隻</b> (5)	7,423 0.50 4,020 11,443 4,484	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451	8年度 年度)	上(千円) 7,285 0.30 2,370	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062
	予算コード	人件費終	事業	曹 (A) 職員数 総額(B) 費(A+B	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 千円) 9,400 0.30 2,506 11,906 5,983	27年度5年度	<b>隻</b> (5)	7,423 0.50 4,020 11,443	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451 11,451 5,764	8年度 年度)	(千円) 7,285 0.30 2,370 9,655 4,477	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416
	予算コード	人件費	事業経事業務	曹 費(A) 職員数 総額(B) 費(A+B オ源(C)	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 9,400 0.30 2,506 11,906 5,983 3,989	27年度5年度	<b>隻</b> (5)	7,423 0.50 4,020 11,443 4,484 2,989	予算(-	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451 11,451 5,764 3,825	8年度 年度)	人(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985	平成29 (2017年	年度 F(円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375
	予算コード	人件費終	事業総事業別特定則	目 費(A) 職員数 総額(B) 関(A+B 対源(C) 国	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 年円) 9,400 0.30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994	27年度5年度	<b>隻</b> (5)	7,423 0.50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495	予算(-	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939	8年度 年度)	(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687
	予算コード	人件費	事業業務特定則	目 費(A) 総額(B) を費(A+B オ源(C) 国府 その他	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 F円) 9,400 0.30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994	27年度	<b>隻</b> (5)	7,423 0.50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939	8年度 年度)	(千円) 7,285 0.30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687
	予算コード	人件費終	事業業等定則市負力	目 費(A) 職員数 総額(B) 費(A+B 才源(C) 国府 その他 担(D)	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 千円) 9,400 0,30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923	27年度	<b>隻</b> (5)	7,423 0.50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0	8年度 年度)	人(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354
	予算コード	人件費終	事業 報	目 費(A) 数 数額(B) 数値(A+B オ源(C) 国府 その他 担け方債 その他 財源	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 年円) 9,400 0.30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923 0	27年度	* *** *** *** *** *** *** *** *** ***	7,423 0.50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959 0	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0 5,687 0	8年度 年度)	A(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178 0 0 5,178	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354 0
	予算コード	人件費  (内訳) (内訳)	事業業務定則	目 費(A) 機額(B) 費(A+B 材源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その地 一般財源 (C+D)	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 (2015 9,400 0.30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923 0	27年度	* *** *** *** *** *** *** *** *** ***	7,423 0.50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959 0	予算(=	平成2 (2016 F円) 9,000 0.30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0 5,687 0	8年度 年度)	人(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178 0	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354 0
	予算コード	人件費終	事業業務定則	目 費(A) 機額(B) 費(A+B 材源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その地 一般財源 (C+D)	- - - - - -	\ \	1	平成2 (2015 年円) 9,400 0,30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923 0 0 5,923 11,906	27年度	度 ( )	7,423 0,50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959 0 6,959 11,443	予算(-	平成2 (2016 F円) 9,000 0,30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0 5,687 0 0 5,687	8年度年度)	A(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178 0 0 5,178	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354 0
	予算コード	人件費  (内訳) (内訳)	事業業務定則	目 費(A) 機額(B) 費(A+B 材源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その地 一般財源 (C+D)	- - - - - -	\ \	予算(千	平成2 (2015 年円) 9,400 0,30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923 0 0 5,923	地方	支 (支 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	7,423 0,50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959 0 0 6,959 11,443	市立吹田	平成2 (2016 F円) 9,000 0,30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0 5,687 0 0 5,687 11,451	8年度年度)	A(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178 0 0 5,178	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354 0 0
	予算コード	人件費終	事業 編	目 費(A) 機額(B) 費(A+B 材源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その地 一般財源 (C+D)	T T	\ \	1	平成2 (2015 年円) 9,400 0,30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923 0 0 5,923 11,906	地方	支 (支 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	7,423 0,50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959 0 0 6,959 11,443	予算(-	平成2 (2016 F円) 9,000 0,30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0 5,687 0 0 5,687 11,451	8年度年度)	A(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178 0 0 5,178	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354 0
	予算コード	人件費終	事業 編	目 養(A) 数(額(B) 数(A+B) が、国府 その他 担(D) 世をのの財形 でのはで、一般はでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、	T T	人 ·PI	予算(千	平成2 (2015 年円) 9,400 0,30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923 0 0 5,923 11,906	7年度 注 地方会	支 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	7,423 0,50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959 0 0 6,959 11,443	市立吹田	平成2 (2016 F円) 9,000 0,30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0 5,687 0 0 5,687 11,451	8年度年度)	A(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178 0 0 5,178	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354 0
	予算コード 事業費と 財源の内訳	人件費終	事業 編	目 養(A) 数(額(B) 数(A+B) が、国府 その他 担(D) 世をのの財形 でのはで、一般はでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、	T T	人 ·PI	予算(千	平成2 (2015 F円) 9,400 0,30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923 0 0 5,923 11,906	地方	支 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	7,423 0,50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959 0 0 6,959 11,443	市立吹田	平成2 (2016 F円) 9,000 0,30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0 5,687 0 0 5,687 11,451	8年度年度)	A(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178 0 0 5,178	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354 0 0
(9)	予算コード 事業費と 財源の内訳 実施方法	人件費終	#	目 養職(A) 数に を関する。 を関する。 を関する。 を担じたのは を関する。 を担じたのは をして、 を関する。 を担じたのは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	T T	人 ·PI	予算(千	平成2 (2015 于円) 9,400 0,30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923 0 0 5,923 11,906	7年度 注 地方会	支 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	7,423 0,50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959 0 0 6,959 11,443	市立吹田	平成2 (2016 F円) 9,000 0,30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0 5,687 0 0 5,687 11,451	8年度年度)	A(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178 0 0 5,178	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354 0
(9)	予算コード 事業費を 財源の内訳 実施方法 であるもの	人件費 総 (内訳) (内訳) □ □	#	目 養職(A) 数に を関する。 を関する。 を関する。 を担じたのは を関する。 を担じたのは をして、 を関する。 を担じたのは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	T T	人 ·PI	予算(千	平成2 (2015 F円) 9,400 0,30 2,506 11,906 5,983 3,989 1,994 0 5,923 0 0 5,923 11,906	7年度 注 地方会	支 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注)	7,423 0,50 4,020 11,443 4,484 2,989 1,495 0 6,959 0 0 6,959 11,443	市立吹田	平成2 (2016 F円) 9,000 0,30 2,451 11,451 5,764 3,825 1,939 0 5,687 0 0 5,687 11,451	8年度年度)	A(千円) 7,285 0,30 2,370 9,655 4,477 2,985 1,492 0 5,178 0 0 5,178	平成29 (2017年	年度 F円) 9,000 0.30 2,416 11,416 5,062 3,375 1,687 0 6,354 0

2 評		)指標等	指標項目	■		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			助産件数		目標値	(単位:件)	20.0	0 18.00	20.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)	15.0	0 16.00	
	1	.,,				達成度(%)	75.	0 88.9	
_		目標値	過去の実績に基づく		単位当た	総事業費(単位:千円)	762.8	7 608.50	1 /
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	463.9	3 328.69	
活動			助成金額		目標値	(単位:円)	9,400.0	0 9,000.00	9,000.00
指標		指標 内容			実績値	(単位:円)	7,423.0	0 7,285.00	
	2	.,,				達成度(%)	79.	0 80.9	
		目標値 の積算	過去の実績に基	づく	単位当た	総事業費(単位:千円)	1.5	4 1.34	
		の積昇 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.9	4 0.72	
					目標値	(単位:)	0.0	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.0	0.00	
	1					達成度(%)	0.	0.0	
<u></u>		目標値 の積算				総事業費(単位:千円)	0.0	0.00	
一成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.0	0.00	
果指					目標値	(単位:)	0.0	0.00	0.00
標		指標内容			実績値	(単位:)	0.0	0.00	
	2					達成度(%)	0.	0.0	] /
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.0	0.00	] /
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.0	0.00	
(3) が 困 難	1	活動内容	奴这処理中で入	『한마 <i>호토</i> [나 Z = L+S	(山來 <b>大</b> ) 사다 준체	ᇍᇲᅲᆉᅩᆕ	目標	福祉の増進を図ること	ができた
な場合	場示 2 成果 内容					が、女心して山座するこ	達成 状況		.n· ce12。
		4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小		廃止	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	児童福祉法に基づ	であり、	真に必要とする世帯・	への支援となっ	ั <sub></sub> เกล.	

 所属名
 子育で給付課

 事務事業番号
 00268
 事業名
 助産施設事業
 事業区分
 その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
д і ш	120/11/	41 mm///	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		AL.
			b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
(1)	妥当性 (20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		AN.
				3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		AT.
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		AIV.
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		л
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		AL.
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		A.
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		灬
			① 年 位 当 たりコストは適正 じゅか。 a. 単位 当 たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		灬
	効率性 (20点)		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)		20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	<u> </u>	从
			回じの事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	<u>-</u>	从
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		从
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			おたの名を対象としているが、文面名の外の印度から見ても連序が、特色がある。(3点)     ②サービスの水準は適正ですか。	<u>.</u>	
			と、サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	<u>.</u>
(4)	公平性 (20点)	16	3.適正な受益者負担を求めていますか。	<u>.</u>	点
			② 心にな交流 有負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	E	<u>.</u>
			a. 画上な文金有負担を求めている。又は文金有負担を必要としない理由・依拠がある。(5点)  ④公平性を確保するための取組みをしていますか。	5	点
				5	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)		
				5	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 子育で	給付課	事務事業番号	00268		
2 各視点から	の評価の点数では表れ	ιない事項(必要に	こ応じて記載)		
3 事務事業の	現状分析				
(1)本事業の位置		主要な政策課題 としての取組		部として重点的な取組	その他
(2)各視点からの	<b>)評価結果</b>		持続可能性公平性	要当性 20 15 10 5 0 3 3 4 3 9 4 9 4	
(3)現状分析	経済面	での救済措置が必引	要な生活保護世帯	に対して必要な事業である。	
4 その他(国・	府の動向など、当該事	業に関係する特割	記事項)		

事務事業名	市外母子生活支援施設入所事業					
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美	

(1)	事業開始年度	平成13年度		강	文正										
(2)	直近の改正	なし			容										
(3)	根拠法令等	児童福祉法		•	•										
		□ 全部		一部(上	乗せ、横	黄出し等あり)		<b>V</b>	なし(国・府籍	制度もしくは:	法令等で	市が実施す	<sup>-</sup> る義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした均	易合はそ	の説明										
(5)	総合計画の体系	章 0	03 健康	で安心	して暮ら	 せるまちづくり			節		01		細節	33	
					区分	□内部管	理		 建設事業	☑ その1	 也		<u> </u>		
		対象 (誰を、何を) 範囲				経済的な理	由やDV	など	で子ども(18歳	 まで)の養育	育を十分に	こできないも	母とその子	ども	
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたいのフ	<b>か</b> )	市外の	┴ 母子生活支援	能設へ	の入	所により、母子	の自立と生	活の安定	 を図る。			
		結果 (どのような効!	果が得られ	<b>ふのか</b> )	母子家	庭の自立と生	活の安定	定							
(7)	争未似安				設への入所により、母子家庭の自立と生活の安定を図る。なお自己負担額については、生活保護及び市 こついては市民税額または所得税額により月額2,200円から9,300円。							及び市民税	护課税		
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	02	E	∄ 04	大事業	03	中事業	01	小事業	01
		項目					平成2 (2015					8年度 年度)		平成29 (2017年	
			块 4	_			(2010		)		(2010	1 /~/		(20174	<b>上</b> 度)
			块 5	<b>-</b>		予算(千	1		· 决算(千円)	予算( <del>·</del>		決算見辺	以(千円)	予算(日	
			事業費			予算(千	1	ž				T	L(千円) 2,258		
			事業費(		人	予算(千	円)	ž	決算(千円)	)	千円)	T			千円)
		人件費	事業費の職員総額	(A) 員数 [(B)	人千円	予算(千	円) 12,600	ž	決算(千円) 2,870	)	千円) 12,000	T	2,258		F円) 10,800 0.30 2,416
	-t- alle =ta	総	事業費( 総額	(A) 員数 [(B) A+B)		予算(千	·円) 12,600 0.25 2,088 14,688	,	決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890	) ) )	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234		F円) 10,800 0.30 2,416 13,216
(9)	事業費と 財源の内訳	総	事業費( 職員 総額 (事業費() 特定財源	(A) 員数 [(B) A+B)		予算(千	·円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450	, à	決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870		千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741		F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100
(9)		(内	事業費( 総額	(A) 員数 [(B) A+B) [(C)		予算(千	·円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870		千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161		F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400
(9)		総	事業費(総額)。	(A) 員数 [(B) A+B) [(C) 国		予算(千	·円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870		千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741		F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100
(9)		(内	事業費(総額)。	(A) 動数 (B) A+B) 原(C) 国 方		予算(千	·円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870	) ) ) ) 6 4	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700
(9)		(内訳)	事業費( 総額 総事業費( 特定財源 ででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(A) 動数 (B) A+B) 原(C) 国 方		予算(千	·円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870 994 ( 4,020	) ) ) ) 6 4	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0
(9)		(内訳) (内訳)	事業費( 総額 等業費() 特定財源 でである。 でも担じ	(A) 員数 (B) A+B) (C) 国 (D)		予算(千	12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870 994	) ) ) ) 6 4	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116
(9)		(内訳)	事業費( 総額	(A) 員数 [(B) A+B) [(C) 国 (D) 方债		予算(千	·円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870 994	) ) ) ) () () ()	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116
(9)		(内訳) (内訳) (内訳)	事業 職 総 器 総 費 財 部 名 で 一 で 一 で で 一 で の で 一 で の で 一 で の か で 一 い で の で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い か で か い か い	(A) (A) (B) (A) (B) (B) (B) (D) (D) (D) (D) (D)		予算(千	·円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238 0		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870 994 (	) ) ) ) ) ) )	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043 0	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493 0	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116 0
(9)		(内訳) (内訳) (内訳)	事業 職 総 書 常 報 総 費 財 で そ 担 で そ 他 で そ 般	(A) (A) (B) (A) (B) (B) (B) (D) (D) (D) (D) (D)		予算(千	円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238 0 0 5,238 14,688		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870 994 ( 4,020 6,890	) ) ) ) ) ) ) )	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043 0	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493 0 0 2,493	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116 0
(9)		(内訳) (内訳) (内訳)	事業 職 総 器 総 費 財 部 名 で 一 で 一 で で 一 で の で 一 で の で 一 で の か で 一 い で の で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い か で か い か い	(A) (A) (B) (A) (B) (B) (B) (D) (D) (D) (D) (D)			・円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238 0 0 5,238 14,688		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870 994 ( 4,020	) ) ) ) ) ) ) )	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043 0	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493 0 0 2,493	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116 0
(9)		(内訳) (内訳) 直接	事業 職 総 器 総 費 財 部 名 で 一 で 一 で で 一 で の で 一 で の で 一 で の か で 一 い で の で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い で で か い か で か い か い	(A) (A) (A) (B) (A) (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D		予算(千 一 一 季託先	・円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238 0 0 5,238 14,688		決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870 994 ( 4,020 6,890	) ) ) ) ) ) ) )	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043 0	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493 0 0 2,493	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116 0
	財源の内訳	(内訳) (内訳) 直接	事業 職 総 費 湯 等 策 観 総 費 別 で そ 担 グ で の で い ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に ま に	(A) (A) (A) (B) (A) (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千円		·円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238 0 0 5,238 14,688 14,688	市外	決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 2,870 1,870 994 ( 4,020 6,890	(b) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043 0	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493 0 0 2,493	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116 0
(10)	財源の内訳実施方法(該当するもの	(内訳) (内訳) 直接	事業 職 総 費 湯 等 策 観 総 費 別 で そ 担 グ で の で い ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に ま に	(A) (A) (A) (B) (A) (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千円	委託先	·円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238 0 0 5,238 14,688 14,688	市外	決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 1,870 994 4,020 6,890 4,020 6,890	(b) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043 0	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493 0 0 2,493	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116 0
	財源の内訳	(内訳)     (内訳)       重     重	事業 職 総 費 湯 等 策 観 総 費 別 で そ 担 グ で の で い ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に か ま に ま に	(A) (A) (A) (B) (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千円	委託先	・円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238 0 0 5,238 14,688  14,688	市外	決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 1,870 994 4,020 6,890 4,020 6,890	(b) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043 0	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493 0 0 2,493	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116 0
	財源の内訳実施方法(該当するもの	(内訳)     (内訳)       重     重	事業 職 総 費 は	(A) (A) (A) (B) (B) (B) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	千円	委託先	・円) 12,600 0.25 2,088 14,688 9,450 6,300 3,150 0 5,238 0 0 5,238 14,688  14,688	市外	決算(千円) 2,870 0.50 4,020 6,890 1,870 994 4,020 6,890 4,020 6,890	(b) (c) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d) (d	千円) 12,000 0.25 2,043 14,043 9,000 6,000 3,000 0 5,043 0	決算見辺	2,258 0.25 1,976 4,234 1,741 1,161 580 0 2,493 0 0 2,493	予算(刊	F円) 10,800 0.30 2,416 13,216 8,100 5,400 2,700 0 5,116 0

			指標項目	<del></del> _		項目			27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			入所世帯数		目標値	(単位	な:世帯)		5.00	4.00	4.00
		指標 内容			実績値	(単位	な:世帯)		2.00	1.00	
	1					達成度(%	6)		40.0	25.0	
<u> </u>		目標値	過去の実績に基	づく	単位当た	総事業費	(単位:千円)		3,445.00	4,301.00	
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		2,010.00	2,560.00	
活動指標					目標値	(単	<b>並位:</b> )		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	<b>兰位</b> :)		0.00	0.00	
	2					達成度(9	(o)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
			退所世帯数		目標値	(単位	な:世帯)		2.00	4.00	4.00
		指標 内容			実績値	(単位	な:世帯)		2.00	0.00	
	1					達成度(%	6)		100.0	0.0	
$\bigcap_{\mathbf{c}}$		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		3,445.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		2,010.00	0.00	
成 果 指標		+七+番			目標値	(単	<b>é位</b> :)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	肖)	<b>é位</b> :)		0.00	0.00	
	2					達成度(%	(o)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
の3 が〜	1	活動 内容						目標			
困指 難標	(	成果						達成			
な示合	2	内容						状況			
		4	<u>│</u> 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	 ☑ <b>継</b> 続	Ē	□ 縮小	`		<b>≨</b> 正 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	委託先の施設と連携を受けるなど、担当 関との連携が必要。	者の相談スキ						

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00269	事業名	市外母子生活支援施設入所事業	事業区分	その他

<u>ラリュギ1</u> 評値				
	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
	b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
	②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
<u> </u>	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
) 1	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i		
	a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	······································		
	a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点	
	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•		
	a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
	②事業の目的と受益者が一致していますか。			
<u> </u>	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
) 2	)	, <del>.</del>		
	a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
	a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
	①単位当たりコストは適正ですか。	<u>.                                    </u>		
	a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
<u> </u>	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
) 1				
	a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
	b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	 点	
	①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u> </u>		
	b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
	②サービスの水準は適正ですか。			
4	b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点	
<u>‡</u>   1				
	a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点	
	4)公平性を確保するための取組みをしていますか。			
	a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点	
	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		<i></i>	
	a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点	
	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
可	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	 点	
1		<u> </u>		
<b>\(\frac{1}{3}\)</b>	能性 18 (20点)	⑤	2	 点
		3		
		F	<u></u>	
	a. 処在い事未りのソルで、物付する手未刈木で1万 何ることができる。(3点/	<u> </u>	点	
	90	<ul> <li>④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。</li> <li>a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)</li> <li>6 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))</li> </ul>	<ul> <li>④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。</li> <li>a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)</li> <li>★ ※自動計算します。</li> </ul>	

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00269		
2 各視点	なからの評価の点数で	だは表れない事項(必要に	応じて記載)	-	
2 車 黎 車	事業の現状分析				
	の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組		として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性       10       5       0       効率性	
(3)現状分	·析	近年、入所世帯数が減少して で、配慮を必要とする家庭へ	ているが、法定受託事 、の支援として成果が.	務であり、母子家庭の生活 上がっている。	の安定と自立を促進すること
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	]事項)		
_ , , ,					

事業番号	00270

事務事業名	ひとり親家庭自立支援事業				
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美

(1)	事業開始年度	平成15	年度		改正	-14	ひこハフ宮宮	(A/)+	ф <del>1</del> -п								
(2)	直近の改正	平成25	年度		内容	X) Ø	と	の又を	旦川								
(3)	根拠法令等	母子及河	子及び父子並びに寡婦福祉法														
		□ 全部	部	□ <b>−</b> ₽	部(上乗も	土、横	出し等あり)		<b>V</b>	なし	(国∙府制	削度もしくは	法令等で	市が実施	する義務は	あり)	
(4)	市単独事業区分		こチェック	した場合	はその説	明											
(5)	総合計画の体系	章 03 健康で安心して暮らせる					±るまちづくり	J			節		01		細節	33	3
			1		×	分	□ 内部管	理		建設	事業	☑ その	他				
		対象 (誰を、	何を)		範	囲等	ひとり親家庭の父及び母、寡婦										
(6)	目 的	目標 (どういう状態にしたいのか)				情報提供や助言を行うことにより、ひとり親家庭の自立を図る。											
		4 田				ひとり親家庭の自立と生活の安定											
(7)	事業概要	母子・父子自立支援員を配置し、 を行うとともに、就職及び自立の													笑に向けて	の情報提信	供や助言
(8)	H28事業別 予算コード	会計	† (	01	款 (	03	項	02	E	1	04	大事業	04	中事業	01	小事業	01
		項目						平成2 (2015						8年度 年度)		平成29 (2017 <sup>2</sup>	
						予算(千円)			ž	夬算(	(千円)	予算(	千円)	決算見込(千円)		予算(千円)	
		事業費(A)			-			17,041			12,566		20,990		19,198		32,096
		人件費総額		職員数		人	0.25		088 4,020				0.25		0.25		
				総額(B				2,088			-	· ·		1,976		2,013	
	<b>市</b> # 書 1.			<b>養(A+</b>		19,12			· ·								
(9)	事業費と 財源の内訳	_	特证	≧財源(C 国	)	10,203			· ·							<u> </u>	
		内一		 府				10,188	159		12,702		131		20,709		
		訳		その他				15			16		15		13		23
			市	<u>も</u> 担(D)				8,926			9,688		10,316		8,783		13,377
		^		地方債				0			0		0		0		0
		内訳		その他				0			0		0		0		0
		· ·		一般財源	京			8,926			9,688		10,316		8,783		13,377
			財源	計(C+E	))			19,129			16,586		23,033		21,174		34,109
		Z	直接実	施													
	実施方法		委託又	は一部委	託		委託先	① ② ③									
(10)	(該当するもの					Ē	とな委託内容										
	は全部チェック)		ᅔᅲᇝᄼ	. 台 中 仝			<b>六</b>	1									
			補助金	•貝担金			交付先	2									
			その他				内容	3									

		が目標を	指標項目	■		項目		27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			相談受付件数		目標値	(単位:件)		720.00	720.00	720.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)		1,306.00	1,453.00	
	1					達成度(%)		181.4	201.8	
<u> </u>		目標値	) 積算 方法 指標	B	単位当た	総事業費(単位:千円	1)	12.70	14.62	
1 ) ;±		の積昇 方法			りコスト	一般財源(単位:千円	1)	7.42	6.09	
活 動 指					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円	1)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円	1)	0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
<u></u>		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円	1)	0.00	0.00	
- ) 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円	1)	0.00	0.00	
果指	2				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
						達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円	1)	0.00	0.00	
		方法			シコント	一般財源(単位:千円	1)	0.00	0.00	
の の が 困 指	1	活動内容					目標			
難な場合	2	成果内容		<b>父または母及び寡婦の</b> Ĵ親家庭の生活の安定		報提供や助言等を行 F図る。	達成状況	策定等に		労支援プログラムの の生活の安定と自立
		4	今後の方向性 (実施計画)	☑ 拡充	□継続		小		廃止 🗆	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	業相談の充実にています。 化する。 また、離婚や別居等による専門相談長を図るため、高等による	oいて、就業支 に伴う子ども <i>0</i> を実施する。。 等職業訓練促	部署や他機関と連携 援専門員を配置し、 D養育費や離れて着 今後もひとり親家庭 進給付金の支給期 援事業等の実施を相	より好条( らす親との が経済的( 間の延長(	牛での就業 の面会交流 に自立し、	業を実現させるた 気について、元家 生活の安定と子と	め就業相談を強 庭裁判所調査官 どもの健やかな成

 所属名
 子育で給付課

 事務事業番号
 00270
 事業名
 ひとり親家庭自立支援事業
 事業区分
 その他

	見点からの		※内部管理事務は「公平性」の評価不要		
評価	iの視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)	妥当性	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性	10	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(0)	効率性	4.0	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	4.0	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			<ul><li>④公平性を確保するための取組みをしていますか。</li></ul>		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
<i>(</i> _)	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計		<b>→</b> ※自動計算します。		
	点满点)	92	○ (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
					1

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00270		
2 各視点	からの評価の点数で	では表れない事項(必要に	こ応じて記載)		
3 事務事	事業の現状分析				
	の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 有効性	
(3)現状分	析	が、平成29年度からは非常 業支援を強化する。	:勤職員の就業支援 資金の貸付業務に	児慮を必要とする家庭への支援 専門員を配置し、児童扶養₹ ついて、市民の負担軽減が図	爰として効果が上がっている ≤当受給者の課題を整理し就 られるよう、煩雑な事務処理を
4 その他	1(国・府の動向など、	当該事業に関係する特調	記事項)		

事業番号	00271
<b>事業番号</b>	00271

事務事業名			交通遺児手当支給事業		
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美

(1)	事業開始年度	昭和46年	度		改正	支給	金額の変更	i 日類9	2 00	の円か	ъ̀8 10	റവ്						
(2)	直近の改正	平成8年月	茰		内容	又作	立版の友文	力顿。	5, 00	01133	50, I	3011						
(3)	根拠法令等	吹田市交	田市交通遺児支給条例															
		☑ 全部		□ 一部	『(上乗せ	乗せ、横出し等あり) 口 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								<b>5</b> り)				
(4)	市単独事業区分	一部にチ	・エックし	した場合	まその説	明		<u>l</u>										
(5)	総合計画の体系	系 章 03 健康で安心して暮らせるまちづくり 節 01						01		細節	33	3						
		:		I	×	分	□ 内部管	理		建設事	業	v	その作	<u>t</u>				
		対象 (誰を、何:	を)		範	囲等	交通事故により保護者を失った中学校修了前の児童											
(6)	目的	目標 (どういう状	態にした	いのか)	交道	通遺児手当の支給により養育者の経済的負担を軽減												
		結果 (どのような	効果が	得られるの	か)児童	童の福	量祉の増進											
(7)	事業概要	給。					両親の一方 の場合、570			は重度に	章がいと	こなった	- 場合	、養育者	に交通遺	児手当を月	]額8, 100	)円支
(8)	H28事業別 予算コード	会計	O	)1	次 (	03	項	02	E	1	05	大事	業	01	中事業	01	小事業	01
		項目						平成2 <sup>-</sup> (2015:							8年度 年度)		平成29 (2017 <sup>4</sup>	
							予算(千円)			快算(千	円)	予算(千円)		決算見込(千円)		予算(千円)		
		事業費(A) 職員数					1,778			1,648			1,361		1,094		1,264	
					٨_		0.05		0.10 804		409		396		0.05			
		総額(B) 総事業費(A+E				円		418								403		
	事業費と							2,196			2,452 0	-		1,770 0		1,490		1,667
(9)	財源の内訳	特定財源(C) 国					0											0
		内		<u></u>				0			0				0		0	
		訳		その他				0			0			0		0		0
			市負	負担(D)				2,196			2,452			1,770		1,490		1,667
		<b>內</b>		地方債				0			0			0		0		0
		訳		その他	_			320			320			0		0		0
		$\sim$		一般財源 計(C+D				1,876 2,196			2,132			1,770 1,770		1,490		1,667 1,667
			97 / 16 直接実施		')			2,190			2,432			1,770		1,490		1,007
			2187/	IE .				1										
	実施方法	□ 3	を託又(	ま一部委	託		委託先	② ③										
(10)						主	な委託内容											
/	(該当するもの は全部チェック)		<b>.</b>	7 IF ^				1										
		□ ネi	#助金・	負担金			交付先	3										
					1													

		)指標等	指標項目	1		項目			7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			助成件数(延べ作	‡数)	目標値	(単	i位:件)		180.00	168.00	156.00
		指標 内容			実績値	(单	位:件)		164.00	135.00	
	1					達成度	%)		91.1		
_		目標値	過去の実績に基	づく	単位当た	総事業費	(単位:千円)		14.95	11.13	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		13.00	11.13	
活動		指標内容	間標値 の積算 方法 受給児童 指標		目標値	(単	i位:人)		13.00	14.00	14.00
指標					実績値	実績値 (単位:人)			14.00	12.00	/
	2					達成度	%)		107.7	85.7	
		目標値 の積算 方法	過去の実績に基	づく	単位当た	総事業費	(単位:千円)		175.14	125.25	
					りコスト	一般財源	(単位:千円)		152.29	125.25	
					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(.	単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	%)		0.0	0.0	
2		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
0 成		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
果指	2				目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(.	単位:)		0.00	0.00	
						達成度	%)	0.0		0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)	0.00		0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
のが困難	1	活動 内容		児童で交通事故により			は重度障がい	目標			の経済的負担の軽
なで 場示 合す	2	成果 内容	となった場合、養	育者に交通遺児手当	を月額8, 100	円支給。		達成 状況	減が図ら	れた。	
		4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	ŧ T	□縮小	`		廃止□	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	交通事故で保護者 育成に効果がある 討する必要がある。	が、市単費で						

 所属名
 子育で給付課

 事務事業番号
 00271
 事業名
 交通遺児手当支給事業
 事業区分
 その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
д. <sub>П</sub>	120/11/	41 mm///	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		AT.
			c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
(1)	妥当性 (20点)	12	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		AIN
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
					AN
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		ZIN.
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指揮設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
	<del></del>		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		AIN
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		AIN
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		AIN .
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
	ᅭᅭᄽ		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	効率性 (20点)	16			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
	公平性		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4)	(20点)	16	L		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			L		
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	L		
	\ \m\/		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計	78	<ul><li>← ※自動計算します。</li></ul>		
(100	点満点)	,0	(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 子育て給付課	事務事業番号	00271		
2 各視点からの評価の点数	枚では表れない事項(必要に	応じて記載)	<u> </u>	
3 事務事業の現状分析				
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しての取組		<b>駅として重点的な取組</b>	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	*	持続可能性	要当性 20 15 5 0 3 4 3 7 3 7 4 3 7 4 3 7 4 3 7 4 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	
(3)現状分析	交通遺児の福祉の増進に一 支援施策として本事業の在り	-定の役割をはたし <sup>-</sup> リ方について検討す	ているが、本市独自の制度で る必要がある。	であり、今後ひとり親家庭への
4 その他(国・府の動向など	ご、当該事業に関係する特記	]事項)		

<b>子</b> 八田 3
---------------

事務事業名			遺児手当支給事業		
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美

(1)	事業開始年度	昭和47年度	Ę		次正 -	支給額の変更	日郊〇	000	<b>四から9 100</b>	лш					
(2)	直近の改正	平成8年度		P	内容	又和領の変更	月蝕0,	000	DW90, 100	רוי					
(3)	根拠法令等	吹田市遺児	手当支約	合条例											
		☑ 全部		一部(_	上乗せ、	せ、横出し等あり) 口 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分		一部にチェックした場合はその説明												
(5)	総合計画の体系	章 03 健康で			して暮	らせるまちづく	Ŋ		節		01	i	細節	33	ı
					区分	分 □ 内部管	管理		建設事業	☑ <i>そ</i> σ.	)他	1			
	_ ,	対象 (誰を、何を)	1		範囲	囲等に対象を失った中学校修了前児童									
(6)	目的	目標(どういう状態)	にしたいの	<b>りか</b> )	遺児:	手当を支給する	ることによ	り、	養育者の経済的 	的負担の朝	経減を図る。	0			
		結果 (どのような効	里が得られ	 わ.るのか)	児童の	の福祉の増進	 を図る。								
(7)	争未恢安					又は重度障が 養の場合、57			合、養育者に遺	望児手当を	月額8, 10	00円支給。			
	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	02	E	₫ 05	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(8)		項目					平成2 (2015					18年度 6年度)		平成29 (2017 <b>4</b>	
(8)		1	欠			J			,						十/又/
(8)						予算(日		ž	夬算(千円)		(千円)	決算見辺		予算(-	千円)
(8)			事業費	₹(A)			1,556	ž	夬算(千円) 1,701		(千円) 1,750	決算見辺	1,612	予算(-	千円) 1,653
(8)		人件費	事業費職	₹(A) :員数	人 		1,556 0.05	ž	央算(千円) 1,701 0.10	)	(千円) 1,750 0.05	決算見辺	1,612 0.05	予算(-	千円) 1,653 0.05
(8)			事業費職総絡	∄(A) :員数 額(B)	人 千P		1,556 0.05 418	ž	夬算(千円) 1,701 0.10 804	)	(千円) 1,750 0.05 409	決算見辺	1,612 0.05 396	予算(-	千円) 1,653 0.05 403
	事業費と	総	事業費総名	(A) 員数 額(B) (A+B)			1,556 0.05 418 1,974	ž	夬算(千円) 1,701 0.10 804 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159	決算見辽	1,612 0.05 396 2,008		千円) 1,653 0.05 403 2,056
(8)	事業費と 財源の内訳	総	事業費 職 総客 総事業費(特定財源	(A) 員数 額(B) (A+B)			1,556 0.05 418	ž	夬算(千円) 1,701 0.10 804		(千円) 1,750 0.05 409	決算見辺	1,612 0.05 396		千円) 1,653 0.05 403
		総	事業費職総客等業費(特定財活	i(A) i員数 i镇(B) (A+B) i原(C)			1,556 0.05 418 1,974	ž	夬算(千円) 1,701 0.10 804 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159	決算見辺	1,612 0.05 396 2,008		f円) 1,653 0.05 403 2,056 0
		総	事業費 職 総審	(A) 員数 額(B) (A+B) 源(C)			1,556 0.05 418 1,974 0	ž	央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0	決算見辺	1,612 0.05 396 2,008 0		f円) 1,653 0.05 403 2,056 0
		総	事業費 職 総名 総名 総名 特定財 を ・ 市負担	(A) (A) (A) (A+B) (A+B) (B) (A+B) (C) 国 府 の他			1,556 0.05 418 1,974 0 0 0	ž	央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 0 0 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0	決算見ジ	1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 0 0 2,056
		( h	事業費 職総名 総名 特定財が その 市負担	(A) 員数 額(B) (A+B) 源(C) 国 府 の他 d(D)			1,556 0.05 418 1,974 0 0 0 0 1,974	ž	央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 0 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0 2,159	決算見必	1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 0 2,056 0
		(内訳)	事業費 総 総 総 特定財派 市負担 也 そ	(A) 員数 額(B) (A+B) 源(C) 国 府 の他 (D) 方債			1,556 0.05 418 1,974 0 0 0 1,974 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ž	央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 2,505 0 0 0 0 0 0		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0 2,159 0	決算見必	1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008 0		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 0 2,056 0
		(内訳)	事業費職 総名 総名 特定財別 その 市負担 せ、 その 一般	(A) (A) (A) (A+B) 原(C) 国 所 の他 (I(D) 方債 の他			1,556 0.05 418 1,974 0 0 0 1,974 0		央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 2,505 0 0 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0 2,159 0 0 2,159		1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008 0 2,008		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 2,056 0 0 2,056
		(内訳) (内訳)	事業費職総容事業費(特定財)がその では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(A) (A) (A) (A+B) 原(C) 国 所 の他 (I(D) 方債 の他			1,556 0.05 418 1,974 0 0 0 1,974 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 2,505 0 0 0 0 0 0		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0 2,159 0		1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008 0		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 0 2,056 0
		(内訳)	事業費職総容事業費(特定財)がその では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(A) (A) (A) (A+B) 原(C) 国 所 の他 (I(D) 方債 の他			1,556 0.05 418 1,974 0 0 0 1,974 0		央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 2,505 0 0 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0 2,159 0 0 2,159		1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008 0 2,008		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 2,056 0 0 2,056
	財源の内訳	(内訳) (内訳) 国植	事業費職総容事業費(特定財)がその では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(A) (A) (A+B) (A+B) 原(C) 国 所 の他 (D) 方債 の他 投財源 C+D)			1,556 0.05 418 1,974 0 0 0 1,974 0 0 1,974 1,974		央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 2,505 0 0 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0 2,159 0 0 2,159		1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008 0 2,008		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 2,056 0 0 2,056
	財源の内訳	(内訳) (内訳) 国植	事業費職総務費 総務費別 ・特定財別 ・有負地 ・その ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(A) (A) (A+B) (A+B) 原(C) 国 所 の他 (D) 方債 の他 投財源 C+D)		크 크	1,556 0.05 418 1,974 0 0 0 1,974 1,974 1,974 1 2 3		央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 2,505 0 0 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0 2,159 0 0 2,159		1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008 0 2,008		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 2,056 0 0 2,056
(9)	財源の内訳	(内訳) (内訳) 目前 委託	事業費職総務 総務 書業 特定財 が その	((A) 過数 額(B) (A+B) 源(C) 原 の他 型(D) 方債 の他 及財源 C+D)		委託先生な委託内容	1,556 0.05 418 1,974 0 0 0 1,974 0 1,974 1,974 1 2 3		央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 2,505 0 0 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0 2,159 0 0 2,159		1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008 0 2,008		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 2,056 0 0 2,056
(9)	財源の内訳 実施方法 (該当するもの	(内訳) (内訳) 目前 委託	事業費職総名費 総名費別 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	((A) 過数 額(B) (A+B) 源(C) 原 の他 型(D) 方債 の他 及財源 C+D)		委託先	1,556 0.05 418 1,974 0 0 0 1,974 1,974 1,974 1 2 3		央算(千円) 1,701 0.10 804 2,505 0 0 2,505 0 0 2,505		(千円) 1,750 0.05 409 2,159 0 0 0 2,159 0 0 2,159		1,612 0.05 396 2,008 0 0 0 2,008 0 2,008		F円) 1,653 0.05 403 2,056 0 0 2,056 0 0 2,056

			指標項目	I		項目		平成27 (2015:		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			延べ支給件数		目標値	1)	単位:件)		192.00	216.00	204.00
		指標 内容			実績値	1)	単位:件)		210.00	199.00	/
	1					達成度(%)		109.4		92.1	
_		目標値	過去の実績に基づ	づく	単位当た	総事業費	総事業費(単位:千円)		11.93	10.16	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		11.93		10.16	
活動			受給児童数		目標値	1)	単位:人)		16.00	17.00	18.00
指標		指標 内容			実績値	(主	単位:人)		19.00	18.00	
	2					達成度	(%)		118.8	105.9	
		目標値	前年度の実績に	基づく	単位当た	総事業費	賃(単位:千円)		131.84	112.28	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		131.84	112.28	
					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(	単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	(%)		0.0	0.0	
<u></u>		目標値 の積算			単位当た	総事業費	慢(単位:千円)		0.00	0.00	
) 成		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
果指					目標値	(	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(	単位:)		0.00	0.00	/	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト		一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の の が 困指	1	活動 内容						目標			
難な場合	2	成果内容	中学校修了前の 遺児手当を月額8	見童で両親が死亡又に 3, 100円支給。	ま重度障がいと	なった場合	合、養育者に	児童の福祉の増進と養育者 減が図られた。 状況		の経済的負担の軽	
		4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	ŧ	□縮小	`	_ <u> </u>	₩ □	終期の設定
(4)総	合評			主に両親を失ったけで実施しており、今							

 所属名
 子育で給付課

 事務事業番号
 00272
 事業名
 遺児手当支給事業
 事業区分
 その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
н п	120/11/	41 mm///	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		AL.
			c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
(1)	妥当性 (20点)	12	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		AN.
			<ul><li>○ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		AN.
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		AIV.
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標股定をしている。又は指揮股定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		AN.
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		AL.
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		爪
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		从
			① 年立 ヨ に ソコヘドは 過正  こ	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		从
	効率性 (20点)		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)		16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		从
			②     図     図	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		从
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		尽
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			2サービスの水準は適正ですか。		尽
			と サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	<u></u>
(4)	公平性 (20点)	16	3. 適正な受益者負担を求めていますか。		点
			②旭正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	E	<u>.</u>
			a. 恵上な文献有具色を水めている。又は文献有具色を必要としない理由・依拠がある。(5点)  ④公平性を確保するための取組みをしていますか。	5	点
				5	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 子育て給付課	事務事業番号	00272	7	
2 各視点からの評価の点数	なでは表れない事項(必要に	に応じて記載)	_	
3 事務事業の現状分析		<del> </del>		
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題		<b>『として重点的な取組</b>	☑ その他
(2)各視点からの評価結果		持続可能性	妥当性 20 15 5 0 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4	
(3)現状分析	遺児の福祉の増進に一定の施策として本事業の在り方(	D役割を果たしている について検討する必	が、本市独自の制度であり 要がある。	、今後ひとり親家庭への支援
4 その他(国・府の動向なと	:、当該事業に関係する特詞	73事項)		

事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業							
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美			

	1.101 1.5/20 10																	
(1)	事業開始年度	昭和51年月	<b></b>		改正	=r	3 4 1 7 2 7 2 2 2	reta e e e	=									
(2)	直近の改正	平成28年月	·····································		内容	肝代	导制限限度	(観の変)	史									
(3)	根拠法令等	大阪府市町	「村ひと	り親家庭	医療費	助成	事業費補即	助金交付	<b>寸要綱</b>	、吹田	市ひとり親	家庭の医	療費の助	ずに関する	条例			
		□ 全部		☑ 一部	(上乗せ	Ł、横	横出し等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
(4)	市単独事業区分		一部にチェックした場合はその				本市では旧児童手当特例給付の所得制限限度額を基準にしているが、府は児童扶養手当一部支給の所得制限限度額を基準にしているため、府の基準を超えている部分を市単独で助成している。											
(5)	総合計画の体系	章	03 亿	建康で安	心して暮	事らせ	さるまちづくり				節		01	細節		33	3	
		<u> </u>	×	分	□内部	管理		建設	事業		)他							
(0)		対象 (誰を、何を)				西田等 18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童と、その児童を養育するひとり親または養育者									養育者			
(6)	目 的	目標 (どういう状態	まにしたい	へのか)	טצ	≤り親	家庭等の係	保健の向	う上に	寄与す	<sup>-</sup> るため、 <u>B</u>	医療費の即	力成を行う。					
		結果 (どのような効	カ果が得ら	られるのか	、) ひと	≤り親	家庭の福祉	业の増進	生を図る	る。								
(7)		18歳の年月 ※所得制限 平成29年	限度額	は、子と	も1人打	き養の		得5707	万円未		育者の医	療費の自	己負担額 <i>0</i> .	)一部を助り	求する。			
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	(	03	項	02		目	07	大事業	01	中事業	01	小事業	01	
		項目							<sup>丈27年</sup> 15年度					 28年度 6年度)		平成29 (2017 <sup>2</sup>		
							予算(	千円)		決算(	千円)	予算	(千円)	決算見記	込(千円)	予算( <del>-</del>	千円)	
		事業費(A)				220,9		220,91	17		222,184		221,242		222,551		194,335	
		人件費	]	職員数		人		1.0	00		1.00		1.25		1.25		1.25	
		711 9	糸	総額(B)		円	8,352						<u> </u>			10,065		
	viie -++- I	វ័		費(A+B	3)		229,269											
(9)	事業費と 財源の内訳	<u> </u>	特定則	オ源(C) 			88,816			85,819 88, 0			88,410		85,455		98,200	
				  府			0 00 016				85,819		0 88,410		85,455		00 200	
		訳		<sup>M</sup> その他			88,816				0			0 0				
				担(D)				140,45	53	144,404 1		143,045				106,200		
		$\overline{}$	;	 地方債					0		0		0	•			0	
		内 訳		その他					0		0		0		0		0	
			_	-般財源				140,45	53		144,404		143,045		146,972		106,200	
				(C+D)				229,26	69		230,223		231,455		232,427		204,400	
		☑ 直	接実施			1												
	実施方法	□委	□ 委託又は一部委託				委託先	(1) (2) (3)	2)									
(10)						É	とな委託内!											
	は全部チェック)	_ <del>\+</del>	머스 卢	4 <del>1</del> 1			<del></del> / 1 <del>/</del>	$\overline{1}$	l)									
	1のエロア・エノノ/	□ 補助金・負担金					<u> </u>											
			助壶 ╹頁	担金			父付先	3	2)									

		<u>指標等</u>	指標項目	1		項目		27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			助成件数(延べ作	+数)	目標値	(単位:件)		84,399.00	89,889.00	71,718.00
		指標 内容			実績値 (単位:件			89,154.00	90,468.00	
	1					達成度(%)		105.6	100.6	
		目標値		づく	単位当た	総事業費(単位:千円	1)	2.58	2.57	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円	1)	1.62	1.63	
活動指標			助成額		目標値	(単位:千円)	2	213,284.00	214,090.00	188,591.00
標		指標 内容			実績値	(単位:千円)	2	215,100.00	215,510.00	
	2					達成度(%)		100.9	100.7	
		目標値		づく	単位当た	総事業費(単位:千円	1)	1.07	1.08	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円	1)	0.67	0.68	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の装質			単位当た	総事業費(単位:千円	<b>達費(単位:千円)</b>		0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円	1)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容 目標値 の積算			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
					単位当た	総事業費(単位:千円	1)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円	1)	0.00	0.00	
の の が 困指	1	活動 内容					目標			
難な場合	2	成果 内容		での児童と、その児童で 額の一部を助成する。	を養育するひと	り親または、養育者の	医 達成 状況		建全な育成と福祉の 担の軽減を図ること	増進及び養育者のができた。
		4	今後の方向性 (実施計画)	☑ 拡充	□ 継続		小	_ J	<b>廃止</b> □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	府の補助事業としてり、子どもの福祉を与 いが行う訪問看護へ なお、入院時の食事 を検討する必要があ	増進している。 への助成拡充 事療養費につい	。今後大阪府の福祉 や、裁判所からDVf	上医療費助 呆護命令か	成制度の評別といる。	再構築に伴い、訪 DV被害者に対象	問看護ステーショ を拡充する予定。

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00273	事業名	ひとり親家庭医療費助成事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u>птіш</u> 	1071九	加州	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 投	2	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	M
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)		3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			○社会状況の変化や時間の性過に中い、事業の关心思報が得れていると70%。 	5	 点
			4   利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3	
			ウパカロ で	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / 1 到 1 1 1 1 元	Q	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
			②	F	     点
(2)	有効性 (20点)	14	a. 事業の目的と受益者は光生に一致している。(3点)   ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	
	<b>\</b> = - <b> \\\\\\</b>			0	 
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点) 	3	点 
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	0	<u> </u>
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。   ************************************	-	<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点 
		20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20 <i>点)</i>		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	_	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点 
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ************************************		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 :	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	 :	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	,: :	
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	······································	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	······	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00273		
2 各視点	なからの評価の点数で	だは表れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事務引	事業の現状分析				
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題  しての取組	<del>-</del>	部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性	妥当性 20 15 10 5 0 効率性	
(3)現状分	↑析	医療費の自己負担額の一部 進に成果を上げている。	がを助成することによ	り、ひとり親家庭の経済的負	担を軽減し、児童の福祉の増
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	]事項)		

事業番号   00276
--------------

事務事業名	子ども医療費助成事業								
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美				

(1)	事業開始年度	平成4年度		改		就学前の児童の所得要件の撤廃										
(2)	直近の改正	平成26年度		内	容   ハパー	于的功力。	川付女口	トロノが	1 <del>91.</del>							
(3)	根拠法令等	大阪府市町村	讨乳幼児	医療費助	成事業	費補助金交付	要綱、吹	田市	子どもの医療	費の助成队	する条例					
		□ 全部		一部(上	<del></del> 乗せ、様	黄出し等あり)		□ た	にし(国・府制	川度もしくは	 法令等でī	市が実施す		り)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたナ	場合はその	の説明	負担割合は、M 分は市単費で		2、市 <sup>-</sup>	1/2ですが、府	₹の補助が所	得制限を設	けて就学前!	見童のため、	. それを超える	5部	
(5)	総合計画の体系	章 0	3 健身	 東で安心し	、て暮ら҅҅	せるまちづくり			節		01		細節	23		
					区分	□ 内部管	理		建設事業	☑ その	也		i			
		対象 (誰を、何を)			範囲等	学 子どもの保護者										
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいの	か)	子どもの	の医療費を助用	 成し、安心	シして	医療を受けら	れるように	する。					
		結果 (どのような効!)	果が得られ	<b>し</b> るのか)	子どもの	の健全な育成と	ー と福祉の <sup>!</sup>	増進を	図る。							
(7)	事業概要	0円まで、1度	医療機関	で、月2日	まで。複	学校修了前の 复数の医療機関 !偶者と子ども2	関にかかっ	った場	<b>昂合、月2、50</b>	00円まで。	一部を助り	成する。自	己負担額に	こついては、	1日50	
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項	02	目	09	大事業	01	中事業	01	小事業	01	
			項[	目			平成27 (2015年				平成2 (2016	8年度 年度)		平成29 <sup>2</sup> (2017年		
					予算(千	予算(千円)		算(千円)	予算(-	千円)	決算見込	└(千円)	 予算(千	-円)		
			事業費(A)			1,1	175,749		1,105,430	)	1,138,612		1,115,109	1,	,251,314	
		人件費 人件費	職員	員数	人		2.30		2.00	)	2.00		2.00		2.00	
		7117	総額	頁 (B)	千円		19,210		16,078	}	16,340		15,800		16,104	
	- <del></del>		事業費(			·	194,959		1,121,508			+		+		
(9)	事業費と 財源の内訳	l —	特定財源			1									104 260	
		内 ——		国					127,670		205,949		108,692		194,260	
		内 府				<u> </u>	192,092		127,670 0	)	205,949		108,692		0	
				<b></b>		1	0		127,670 0 127,655	5	205,949 0 205,929		108,692 0 108,680		0 194,244	
		訳		府の他			0		127,670 0	5	205,949		108,692		0	
			その 市負担	府の他			0 192,072 20		127,670 0 127,655 15	5	205,949 0 205,929 20		108,692 0 108,680 12	1,	0 194,244 16	
		<u></u>	その 市負担 地ス	府 の他 (D)			0 192,072 20 002,867		127,670 0 127,655 15 993,838	5 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	205,949 0 205,929 20 949,003		108,692 0 108,680 12 1,022,217	1,	0 194,244 16 ,073,158	
		) (内訳)	その 市負担 地方 その 一般	府 の他 (D) 方債 の他 設財源		1,0	0 192,072 20 002,867 0 0		127,670 0 127,655 15 993,838 0 0 993,838	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	205,949 0 205,929 20 949,003 0 949,003		108,692 0 108,680 12 1,022,217 0 0 1,022,217	1,	0 194,244 16 ,073,158 0 0 ,073,158	
		(内 訳)	その 市負担 地プ その 一般 け源計(C	府 の他 (D) 方債 の他 設財源		1,0	0 192,072 20 002,867 0		127,670 0 127,655 15 993,838 0	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	205,949 0 205,929 20 949,003 0		108,692 0 108,680 12 1,022,217 0	1,	0 194,244 16 ,073,158 0	
	実施方法	(内訳)       里       回接	その 市負担 地方 その 一般	府 の他 (D) 方債 の他 以財源 C+D)		1,0 1,0 1,1 至託先	0 192,072 20 002,867 0 0 002,867 194,959		127,670 0 127,655 15 993,838 0 0 993,838	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	205,949 0 205,929 20 949,003 0 949,003		108,692 0 108,680 12 1,022,217 0 0 1,022,217	1,	0 194,244 16 ,073,158 0 0 ,073,158	
(10)		(内訳)       里       回接	その 市負担 その 一般 対源計(C	府 の他 (D) 方債 の他 以財源 C+D)		1,C 1,C 1,1	0 192,072 20 002,867 0 0 002,867 194,959		127,670 0 127,655 15 993,838 0 0 993,838	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	205,949 0 205,929 20 949,003 0 949,003		108,692 0 108,680 12 1,022,217 0 0 1,022,217	1,	0 194,244 16 ,073,158 0 0 ,073,158	
(10)		<ul><li>○ (内訳)</li><li>耳 直接</li></ul>	を担 市負担 その 計源施 ま実は一部	府 の他 (D) 方債 の財源 C+D) 部委託		1,0 1,0 1,1 4 5 5 5 5 5 5 5 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	0 192,072 20 002,867 0 0 002,867 194,959		127,670 0 127,655 15 993,838 0 0 993,838	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	205,949 0 205,929 20 949,003 0 949,003		108,692 0 108,680 12 1,022,217 0 0 1,022,217	1,	0 194,244 16 ,073,158 0 0 ,073,158	
(10)	(該当するもの	<ul><li>○ (内訳)</li><li>耳 直接</li></ul>	その 市負担 その 一般 対源計(C	府 の他 (D) 方債 の財源 C+D) 部委託		1,0 1,0 1,1 至託先	0 192,072 20 002,867 0 0 002,867 194,959		127,670 0 127,655 15 993,838 0 0 993,838	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	205,949 0 205,929 20 949,003 0 949,003		108,692 0 108,680 12 1,022,217 0 0 1,022,217	1,	0 194,244 16 ,073,158 0 0 ,073,158	

事業番号 00276

			指標項目	<b>=</b>		項目			27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
			助成件数		目標値	(単	位:件)	6	77,826.00	646,447.00	693,896.00		
		指標 内容			実績値	(単	位:件)	6	16,893.00	637,742.00			
	1					達成度领	%)		91.0	98.7			
_		目標値	過去の実績に基	づく	単位当た	総事業費	(単位:千円)		1.82	1.77			
1   ·		の積算 方法			りコスト	コスト 一般財源(単位:千円)		1.61		1.60			
活動指標			助成金額		目標値	(単位	立:千円)	1,1	13,832.00	1,082,687.00	1,193,263.00		
標		指標 内容			実績値	実績値 (単位:千円)		1,0	49,904.00	1,068,071.00			
	2					達成度(	%)		94.3	98.7			
		目標値 の積算	過去の実績に基金	づく	単位当た	総事業費	(単位:千円)		1.07	1.06			
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.95	0.96			
					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00		
		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00			
	1						達成度		%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00			
2 。 成		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00			
成果指標					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00			
	2					達成度(%)			0.0	0.0			
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円) りコスト 一般財源(単位:千円)			0.00 0.		)		
		方法			りコスト				0.00	0.00			
の3 が当 困指	1	活動 内容						目標					
四難な場合 場標で示す	2	成果 内容	小・中学生には別 を助成する。	<b>千得制限を設けて、中</b> 学	学校修了前の子	どもに係る	医療費の一部	達成 状況		建全な育成と福祉の 旦の軽減を図ること	)増進及び養育者の :ができた。		
			今後の方向性 (実施計画)	☑ 拡充	□ 継続	Ē.	□縮小		□ <b>J</b>	<b>秦止</b> □	終期の設定		
(4)総	合評		評価の説明	子どもの健全な育り 受ける機会の多い 今後は、大阪府内 限について検討する 療との公平性の観 また、大阪府の福祉 し、障がい者医療の 予定。	就学前の子ど 各市町村の状 る必要がある。 点から在り方で 祉医療費助成	もに係る所 況を鑑み 。なお、入 を検討する 制度の再	所得制限を撤 、子育て支援 院時の食事が 必要がある。 構築に伴い、	(廃し、安施策ので 療養費に 。 訪問看記	心して医療 さらなる充っ ついては、 養ステーシ	療を受けられる制実のために、小・ まのために、小・ 市単費で助成しました。	川度となっている。 中学生の所得制 ているが在宅医 「護に助成を拡充		

所属名	子育て給付課			
事務事業番号	00276	事業名 子ども医療費助成事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	四丁  四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4  スル思報はする頃とである。(3M/)   4  利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			・	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / 1 到 1 1 1 1	Q	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
				5	点
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は光生に一致している。(3点)   ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	
	<b>\</b> = - <b>\\\\\\</b>				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	_	<b>-</b>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************		<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ************************************		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 :	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	:	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	: :	
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	: :	
(5)	持続可 能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	:	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<b>:</b>	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)  3 事務事業の現状分析 (1)本事業の位置付け	所属名	子育て給付課	事務事業番号	00276		
(2)各視点からの評価結果    本事業の位置付け	2 各視点	点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に	応じて記載)		
(2)各視点からの評価結果    本事業の位置付け						
(2)各視点からの評価結果  医療費の自己負担額の一部を助成することにより、子どものいる家庭の経済的な負担が軽減される効果をあげており、費用対効果は適切である。 今後は、大阪府内各市町村の状況を鑑み、子育て支援施策のさらなる充実のために、小・中学生の所得制限について検討する必要がある。	3 事務員	事業の現状分析 				
(2)各視点からの評価結果  (2)各視点からの評価結果  医療費の自己負担額の一部を助成することにより、子どものいる家庭の経済的な負担が軽減される効果をあげており、費用対効果は適切である。今後は、大阪府内各市町村の状況を鑑み、子育て支援施策のさらなる充実のために、小・中学生の所得制限について検討する必要がある。	(1)本事業	<b>ぐの位置付け</b>			部として重点的な取組	☑ その他
(3)現状分析 あげており、費用対効果は適切である。 今後は、大阪府内各市町村の状況を鑑み、子育て支援施策のさらなる充実のために、小・中学生の所得制限について検討する必要がある。	(2)各視点	からの評価結果			15 10 5 0 有効性	
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)	(3)現状分	\ <del>+</del> ⊑	あげており、費用対効果は適 今後は、大阪府内各市町村の	適切である。 の状況を鑑み、子詞		
	4 その什	ウ಼(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	· · · ·		

事業番号 01075
------------

事務事業名	システム改修事業								
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美				

	1.121 1.26 0.19														
(1)	事業開始年度	平成16年度		改正	制度	度改正等に伴う手当・医療費助成システムの改修									
(2)	直近の改正	平成27年度		内容											
(3)	根拠法令等	なし													
		☑ 全部	□ 一部	『(上乗せ	と、横に	 出し等あり)			なし(国・府制	制度もしくは	法令等で	市が実施す	る義務あ	<u></u> り)	
(4)	市単独事業区分		ックした場合し	よその説	明										
(5)	総合計画の体系	章 0	3 健康で安	で心して著	事らせ	るまちづくり			節		01		細節	10	
				×	分	☑ 内部管理			建設事業	□ その	他				
		対象 (誰を、何を)		範[	節囲等 児童手当・児童扶養手当・子ども医療費助成・ひとり親家庭医療費助成システム										
(6)	目 的	目標(どういう状態に	こしたいのか)	児童	<del>——</del>	<b>4•</b> 児童扶養手:	当•子。	どもほ	医療費助成・ひ	とり親家庭	医療費助用	<b>ボシステム</b>	の改修		
		結果 (どのような効気	₽が得られるの?	か) 別											
(7)	事業概要 		· T		扶養 <b>寻</b>	手当・子ども医療	療費助 ————		<u> </u>	T	<b>ノステムの</b>				
(8)	予算コード	会計	蒜	欠		項			1	大事業		中事業		小事業	_
			項目				平成2 <sup>-</sup> (2015:				平成2 (2016	8年度 年度)		平成29年度 (2017年度)	
					予算(千円)			決算(千円)	予算(		決算見過		予算(千円)	_	
		事業費( <i>A</i>				4.	2,370		20,931		486		486		0
		人件費		職員数		0.10		0.10 836			0.10		0.10	0.0	_
		松公	総額 (B) 事業費(A+E		-円	1	3 206		21,767		1,303		790 1,276		0
(-)	事業費と		事業員(ATI 特定財源(C)		43,206				21,707		1,303		1,270		0
(9)	財源の内訳		<u>国</u>			0			(		0		0		0
		内 訳	 府			0			(		0		0		0
			その他				0		(		0		0		0
			市負担(D)			4	3,206	21,767		1,303			1,276		0
		<u></u> 内	地方債				0		(	)	0		0		0
		訳	その他	-			0		(		0		0		0
		<u> </u>	一般財源				3,206		21,767		1,303		1,276		0
		□直接	才源計(C+D <del></del>	,		4	3,206		21,767	<u> </u>	1,303		1,276		0
			スぱー部委託	託		委託先	① ② ③	株式	会社両備シス	テムズ					_
(40)	実施方法				主	な委託内容		医療	 寮費助成システ	ムの改修					_
(10)	(該当するものは全部チェック)						1								
	14 エロノエンソ)	□ 補助	]金•負担金			交付先	2								
							3								
		□ その	他			内容									

2 評	Щ 🗸	指標等	指標項目			項目			27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容				<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(	%)		0.0	0.0	
<u> </u>		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度领	%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度领	%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(	%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円) りコスト 一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
		の積算 方法						0.00		0.00	
<ul><li>の3</li><li>がまた</li></ul>	1	活動 内容	制度改正等に対応す	るために、手当・医	を行う。	目標	制度改正等	正等のスケジュールに沿った改修る			
困難な場合	2	成果 内容	制度改正等に対応す的、円滑な実施が可		<b>艾システムの構</b>	築により、名	各事業の効率	達成 状況	制度改正等済。	等のスケジュールに	沿った改修を実施
	•	4	・ う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	•		<b>廃止</b> □	終期の設定
(4)総	合評			度改正等のある場	易合は手当・	医療費助原	<b>成システムの</b>	改修を行	」 すい、適切	 に対応を行 <b>う必</b> 要	<b>見がある。</b>

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	01075	事業名	システム改修事業	事業区分	内部管理

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		и іши	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	     点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	<u> </u>	
	u. la		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	     点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	   点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	   点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		) AN
			ウ/ロ・助 16 15   17 20 16 15 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	3	   点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	   点
(2)	有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	     点
		4 市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J		
		せい	5	   点	
			1単位当たりコストは適正ですか。	J	洲
			①早位当たりコストは適正である。(5点)	5	<u></u>
			a. 単位当たりコスドは過止である。(5点)   ②迅速なサービスの提供に努めていますか。	J	点
			②元ほなり一に入り徒供に劣めていますが。 	5	<u></u>
(3)	効率性 (20点)	20	3. 近尾なり一とス提供のための取組を具体的に取り組んといる。(3点)   3. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	J	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	   点
			4事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	J	<i></i>
			中来子広の検討、事務以告に取り組むなど、事未効率の向上にあめているすが。 	5	     点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	3	<i>m</i>
					   点
	— 14		<u>とうってんの水平は過止ですが。</u>  ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		     点
(4)	公平性 (20点)	0	②適正な受益者負担を求めていますか。		<i></i>
					   点
			公日		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		     点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		, m
			・	5	   点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	<u> </u>	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	   点
(5)	能性	20	a. 事業負や前負担はほどんと増入しない免込みである。(3点)  ③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	J	w
	(20点)		③	5	   点
			a. 足知的に比較・分析しており、事業員の水準は過止である。(3点)   ④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	J	, AT
			4) 付未的に見て、現在の事業のあり力で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	۶.	     点
	= -			υ	m
	「点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 子育て給付課	事務事業番号 01075		
2 各視点からの評価の点数	では表れない事項(必要に応じて	記載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	要当性 20 10 10 5 有効性 公平性	
(3)現状分析	手当・医療費助成事業の運用にあた	こり必要な事業である。	
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)		
	THE TOTAL TO		

事務事業名			診断料助成事業(児童扶養手当分)		
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美

	3 353 3 514 - 6 10														
(1)	事業開始年度	平成14年度		改正	-1.47	╸ᄼᅪᆜᅡᆖᄜᄯ	◆ ◆ 中 幸 本	7.	Li	<b>上江归</b> 莱5	5 <u>4 + 1</u>	,			
(2)	直近の改正	平成24年度		内容	刈家	で非誄悅	の中請有	0)+	<i>ح</i> ل,	生活保護贸	<b>叉桁白を</b> 除	<b>\</b> 0			
(3)	根拠法令等	吹田市福祉サ	ナービスに係ん	る診断料	助成	交付要綱									
		☑ 全部	□ 一部	『(上乗せ	t、横l	は出し等あり) □ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分		ックした場合	まその説	.明			1							
(5)	総合計画の体系	章 00	3 健康で多	そ心して著	事らせ	るまちづく	(り			節		01		細節	33
		<u> </u>		Z	分	□内部	 S管理		建		☑ その	 他	<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)		範	囲等	児童扶養手当申請者のうち、配偶者が障がい者で、認定診断書を必要とする非課税世帯の方								果税世帯の方	
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいのか)		 児童扶養手当を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与するとともに、児童の 健全な育成を図るため、支給認定時の診断費用を助成する。										
		結果 (どのような効果	見が得られるの	か) ひと	:り親:	家庭等の	福祉の増	進							
(7)	事業概要 	金1級を受給	している場合	などは不		その場合の		詳料を 	助成		T	恩定時に診		要になりま	で、(障害基礎年
(8)	予算コード	会計	<u> </u>	次		項			目		大事業		中事業		小事業
			項目					27年月 5年度					8年度 年度)		平成29年度 (2017年度)
						予算(	(千円)		決算	(千円)	予算(	千円)	決算見記	込(千円)	予算(千円)
			事業費(A)		_		8	3		12		16		3	16
		人件費	職員数		人 · E		0.00	)		0.00		0.00		0.00	_
		<i>\$</i> /\}-	総額(B)  東業弗(A L)		-円		(	,		0		16		0	0
	事業費と		事業費(A+      持定財源(C)					)		12		16		0	16
(9)	財源の内訳			'		0		1			0 0			0	
		内					(			0		0		0	
		訳   	その他				(	)		0		0		0	0
			市負担(D)				{	3		12		16		3	16
			地方債				(	)		0		0		0	0
		内 訳	その他				(	)		0		0		0	
		<u> </u>	一般財源					3		12		16		3	16
			オ源計(C+D ・実体	)			}	3		12		16		3	16
	実施方法		<ul><li>☑ 直接実施</li><li>□ 委託又は一部委託</li></ul>				① ② ③								
(10)					主	な委託内		1							
, /	(該当するもの は全部チェック)		A = 1			-1-11	1								
		□ 補助	金•負担金			交付先	2	1							
							3								
		□ その他				内容									

事業番号 01292

		指標等	指標項目	1		項目		27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)				
			助成件数		目標値	(単位:件)		2.00	4.00	2.00				
		指標 内容			実績値	(単位:件)		6.00	1.00					
	1					達成度(%)		300.0	25.0					
		目標値	過去の実績に基づ	過去の実績に基づく		総事業費(単位:千円)		2.00	3.00					
1 0		の積算 方法			単位当た りコスト	一般財源(単位:千円)		2.00	3.00					
活動指標			児童扶養手当をえ	支給した件数	目標値	(単位:件)		2.00	4.00	2.00				
標		指標 内容			実績値	(単位:件)		6.00	1.00					
	2					達成度(%)		300.0	25.0					
		目標値	助成件数		単位当た	総事業費(単位:千円)		2.00	3.00					
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		2.00	3.00	3.00				
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00				
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00					
	1					達成度(%)		0.0	0.0					
		目標値の装質			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00						
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00				
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00					
	2					達成度(%)		0.0	0.0					
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00					
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00					
の の3 が 困指	1	活動 内容					目標							
難な場合	2	成果 内容				障害の状態にある場合 その場合の、診断書料	達成状況	ひとり親家 た。	(庭等の福祉の増進	を図ることができ				
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小	`	□ <i>J</i>	廃止 □ ;	終期の設定				
(4)総1	<b>今</b> 評		評価の説明	児童扶養手当を受給	給するために	必要な診断であり、非	課税世帯	- 5の経済的	  負担が軽減され <sup> </sup>	ている。				

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	01292	事業名	診断料助成事業(児童扶養手当分)	事業区分	その他

評価	iの視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	i	
4 \	妥当性		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
1)	(20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	日の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2) 有効性 (20点) 18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
(3) 効率性			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
	効率性 (20点)	16	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
3)		10	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
4)	公平性	14	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
4)	(20点)	14	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
5)	持続可	1 4	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
<i>(</i> د	能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)	
3 事務事業の現状分析	
(1)本事業の位置付け 主要な政策課題 □ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果       お続可能性       公平性   カター	
高齢者や障がい者などの診断料助成と同様に、低所得者への経済的な支が、児童扶養手当申請分としての助成件数は非常に少ない。	援として実施している事業である
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)	

事務事業名			システム保守事業		
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美

	争務争耒の物	人女													
(1)		平成16年月なし	支		改正 児:	童手当•児童扶	養手当	・子ども	医療費助成	・ひとり親家庭医療費	貴助成システムの保 <del>?</del>	守管理			
(2)															
(3)	根拠法令等	なし													
		☑ 全部		□ 一部(	上乗せ、樹	乗せ、横出し等あり) 口 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり					IJ)				
(4)	市単独事業区分	一部に <del>チ</del>	ェックし												
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心	いして暮ら <sup>・</sup>	せるまちづくり			節	01	細節	23			
		5-			区分	☑ 内部管理	₫	□ 建割	<b>设事業</b>	□ その他					
(0)		対象 (誰を、何を	·)		範囲等	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
(6)	目的	目標(どういう状態	気にしたし	<b>い</b> のか)	児童手	当•児童扶養手	当•子。	ども医療	費助成・ひと	とり親家庭医療費助用	成業務の円滑な保守	・管理			
		結果 (どのようなダ	効果が得	られるのか)	同上										
(7)	争未似安									いて、大量の受給者システムの円滑な運	データをシステムに。 用を行う。	より管理している。 ·			
(8)	H28事業別 予算コード	会計		款		項		目		大事業	中事業	小事業			
			項	i 目			平成2 (2015			平成2 (2016	8年度 年度)	平成29年度 (2017年度)			
			-			予算(千円	3)	 決算	(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)			
				事業費(A)											
			事業	費(A)			1,729		1,729	2,153	2,142	2,153			
				養(A) 職員数	人		0.10		1,729 0.10		2,142 0.10				
		人件費			人 千円				-			0.10			
			í	職員数	千円		0.10		0.10	0.10	0.10	0.10 806			
(9)	事業費と財源の内部		総事業	職員数 総額 (B) 費(A+B) 財源(C)	千円		0.10 836		0.10	0.10	0.10 790	0.10 806 2,959 0			
(9)	事業費と 財源の内訳		総事業	職員数 総額 (B) 費(A+B) 財源(C) 国	千円		0.10 836 2,565 0		0.10 804 2,533 0	0.10 818 2,971 0	0.10 790 2,932 0	0.10 806 2,959 0			
(9)			総事業特定則	職員数 総額(B) 費(A+B) 財源(C) 国 府	千円		0.10 836 2,565 0 0		0.10 804 2,533 0 0	0.10	0.10 790 2,932 0 0	0.10 806 2,959 0 0			
(9)		( 内	総事業	職員数 総額(B) 費(A+B) 財源(C) 国 府 その他	千円		0.10 836 2,565 0 0 0		0.10 804 2,533 0 0 0	0.10 818 2,971 0 0	0.10 790 2,932 0 0 0	0.10 806 2,959 0 0			
(9)		( 内	総事業	職員数 総額(B) 費(A+B) 財源(C) 国 府 その他 担(D)	千円		0.10 836 2,565 0 0		0.10 804 2,533 0 0	0.10 818 2,971 0 0	0.10 790 2,932 0 0	0.10 806 2,959 0 0 0 0 2,959			
(9)		(内訳) (内訳)	総事業	職員数 総額(B) 費(A+B) 財源(C) 国 府 その他	千円		0.10 836 2,565 0 0 0 2,565		0.10 804 2,533 0 0 0 0 2,533	0.10 818 2,971 0 0	0.10 790 2,932 0 0 0 0 2,932	0.10 806 2,959 0 0 0 0 2,959			
(9)		(内訳)	総事業特定則市負	職員数 総額(B) 費(A+B) 財源(C) 国府 その他 担(D) 地方債	千円		0.10 836 2,565 0 0 0 2,565		0.10 804 2,533 0 0 0 0 2,533	0.10 818 2,971 0 0 0 0 2,971 0	0.10 790 2,932 0 0 0 2,932 0 2,932	0.10 806 2,959 0 0 0 2,959 0			
(9)		(内訳) (内訳	総事業	職員数 総額(B) 費(A+B) 財源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その他	千円		0.10 836 2,565 0 0 0 2,565 0		0.10 804 2,533 0 0 0 2,533 0	0.10 818 2,971 0 0 0 0 2,971 0 2,971	0.10 790 2,932 0 0 0 2,932 0 2,932 0	0.10 806 2,959 0 0 0 2,959 0 2,959			
(9)		(内訳) (内訳)	総事業	職員数 総額(B) 費(A+B) 財源(C) 国府 そ担(D) 地方債 セの財源 十(C+D)	千円		0.10 836 2,565 0 0 2,565 0 2,565 2,565		0.10 804 2,533 0 0 0 2,533 0 0 2,533 2,533	0.10 818 2,971 0 0 0 2,971 0 2,971 2,971	0.10 790 2,932 0 0 0 2,932 0 2,932 0 2,932	0.10 806 2,959 0 0 0 2,959 0 2,959			
(9)		(内訳) (内訳)	総事業市	職員数 総額(B) 費(A+B) 財源(C) 国府 そ担(D) 地方債 セの財源 十(C+D)	千円		0.10 836 2,565 0 0 0 2,565 0 0 2,565 2,565		0.10 804 2,533 0 0 0 2,533 0 2,533	0.10 818 2,971 0 0 0 2,971 0 2,971 2,971	0.10 790 2,932 0 0 0 2,932 0 2,932 0 2,932	0.10 806 2,959 0 0 0 2,959 0 2,959			
(9)		(内訳) (内訳) □ □		職員数 総額(B) 費(A+B) 財源(C) 国府 そ担(D) 地方債 セの財源 十(C+D)	千円		0.10 836 2,565 0 0 0 2,565 0 2,565 2,565		0.10 804 2,533 0 0 0 2,533 0 0 2,533 2,533	0.10 818 2,971 0 0 0 2,971 0 2,971 2,971	0.10 790 2,932 0 0 0 2,932 0 2,932 0 2,932	0.10 806 2,959 0 0 0 2,959 0 2,959			
	財源の内訳	(内訳) (内訳) □ □		職員数 総額(B) 費(A+B) 財源国府の(D) を担けたの財子の財子の サ(C+D)	千円	委託先	0.10 836 2,565 0 0 0 2,565 0 2,565 2,565 2,565	株式会社	0.10 804 2,533 0 0 0 2,533 0 2,533 2,533	0.10 818 2,971 0 0 0 2,971 0 2,971 2,971	0.10 790 2,932 0 0 0 2,932 0 2,932 0 2,932	0.10 806 2,959 0 0 0 2,959 0 2,959			
(9)	財源の内訳実施方法(該当するもの	(内訳) (内訳) □ □		職員数 総額(B) 費(A+B) 財源国府の(D) を担けたの財子の財子の サ(C+D)	千円		0.10 836 2,565 0 0 0 2,565 0,565 2,565 2,565	株式会社	0.10 804 2,533 0 0 0 2,533 0 2,533 2,533	0.10 818 2,971 0 0 0 2,971 0 2,971 2,971	0.10 790 2,932 0 0 0 2,932 0 2,932 0 2,932	0.10 806 2,959 0 0 0 2,959 0 2,959			
	財源の内訳	(内訳)     (内訳)		職員 (B) 数 (A) (C)	千円	委託先	0.10 836 2,565 0 0 0 2,565 0 2,565 2,565 2,565	株式会社	0.10 804 2,533 0 0 0 2,533 0 2,533 2,533	0.10 818 2,971 0 0 0 2,971 0 2,971 2,971	0.10 790 2,932 0 0 0 2,932 0 2,932 0 2,932	0.10 806 2,959 0 0 0 2,959 0 2,959			
	財源の内訳実施方法(該当するもの	(内訳)     (内訳)	**   **   **   **   **   **   **   *	職員 (B) 数 (A) (C)	千円	委託先	0.10 836 2,565 0 0 0 2,565 2,565 2,565 2,565 (1) (2) (3) (4)	株式会社	0.10 804 2,533 0 0 0 2,533 0 2,533 2,533	0.10 818 2,971 0 0 0 2,971 0 2,971 2,971	0.10 790 2,932 0 0 0 2,932 0 2,932 0 2,932	0.10 806 2,959 0 0 0 2,959 0 2,959			

事業番号 01506

2 評	<u> </u>	指標等	指標項目			項目		27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
	1				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
(1)活動指標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
						達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
	2	指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
						達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00 0.00			
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
	1				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
						達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
2)成果指標		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
	2	指標 内容 目標値 の積算			目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
					実績値	(単位:)		0.00	0.00		
						達成度(%)		0.0	0.0		
					単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法	T-21 1 2 2 40 E		りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00		
の3 がシ 困指	1	活動 内容	委託による手当・医療費助成システムの保守管理。  手当・医療費助成事業を効率的、円滑に実施する。					安定したシ	·ステムの稼働を実 <sup>3</sup>	児する。	
難な場合 合	2	成果 内容						手当・医療費助成システムの保守管理により、安 定したシステムの稼働を実現し、各事業を効率 的、円滑に実施している。			
(4)総合評価			今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充						終期の設定	
				算システムで大量 い引き続き安定運		ータの管理を行うため いく必要がある。	に不可欠	てである。←	後のマイナンバ	一制度の導入に	

所属名	子育て給付課			
事務事業番号	01506	事業名 システム保守事業	事業区分	内部管理

評価	<del>RRからの</del> iの視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不安 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
(1)	妥当性 (20点)		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		4.0	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
	有効性 (20点)		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
		18	b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	·i	
(0)			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)			③事業は目標どおりに進捗していますか。	.i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u>:</u>	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	.i	
>			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	.i	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
	公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u>:</u>	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			②サービスの水準は適正ですか。	.i	
(4)			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			③適正な受益者負担を求めていますか。	.i	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5)	持続可 能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u>:</u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	.i	
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。	.i	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)  3 事務事業の現状分析  (1)本事業の位置付け  □ 主要な政策課題 □ 部として重点的な取組 □ その他  ※当性 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	所属名子育で	給付課	事務事業番号	01506				
(2)各視点からの評価結果  「主要な政策課題としての取組」 「新統可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「おがける。 「おがける。」 「はないる。」 「はないるいる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないる。」 「はないるいる。」 「はないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	2 各視点から	の評価の点数では表れ	ったい事項(必要に	応じて記	,載)			
(2)各視点からの評価結果  「主要な政策課題としての取組」 「新統可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「お続可能性」 「おの他」 「おの他」 「おんり必要な事業である。	3 事務事業の	現状分析						
(2)各視点からの評価結果 (3)現状分析 (3)現状分析 (3)現状分析 (3)現状分析 (3)現状分析		B. / / L.	主要な政策課題 」 としての取組		□ 部	として重点的な取組	V	その他
	(2)各視点からの	(2)各視点からの評価結果						
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)	(3)現状分析 手当・医療費助成事業の運用にあたり必要な事業である。							
	4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)							